

瀬戸内国際芸術祭2013

Setouchi Triennale 2013

総括報告

2013年12月20日

瀬戸内国際芸術祭実行委員会

目 次

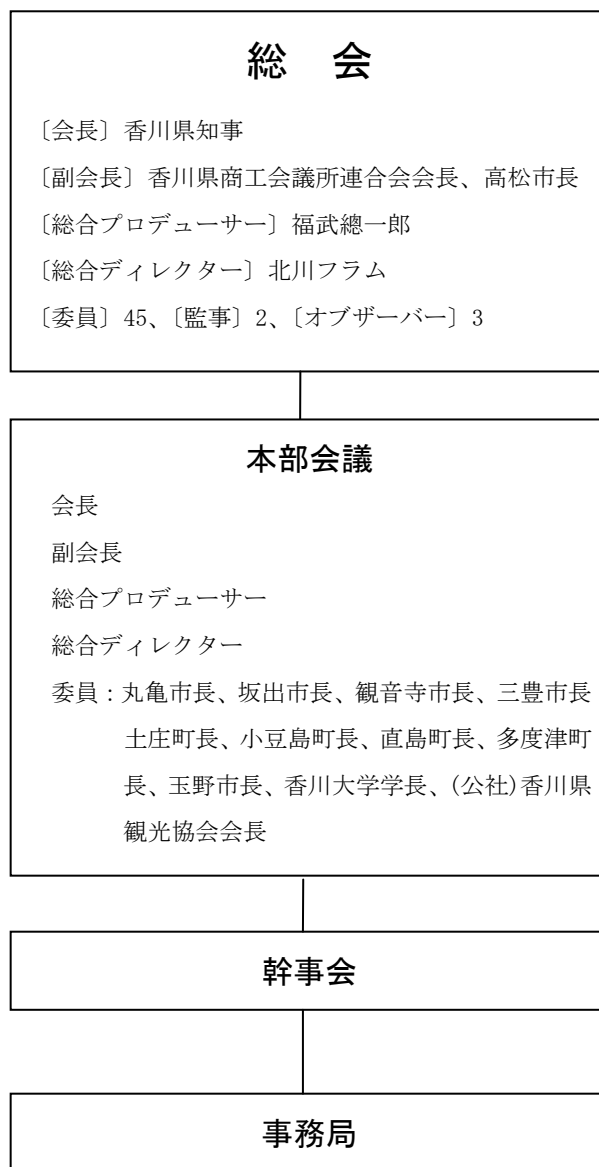
1	実施概要	1
2	経緯	3
3	アート作品	4
4	概況	11
5	来場者の状況	12
	(1) 来場者数	12
	(2) 来場者の傾向	15
6	芸術祭開催による効果	19
	(1) 経済波及効果	19
	(2) 地域の活性化	20
	(3) 地域のイメージアップ	22
7	作品鑑賞パスポートの販売状況等	23
8	イベントの開催状況	25
9	広報の状況	29
	(1) 企画発表会・記者会見等	29
	(2) PRキャンペーン等	29
	(3) 広報制作物	29
	(4) プレスツアー	30
	(5) 取材用プレス証発行件数	30
	(6) パブリシティの実績	31
	(7) パブリシティの広告費換算	31
	(8) 地元メディアでの長期特集	31
	(9) 国内主要メディアでの掲載・放映実績	32
	(10) 海外メディアでの掲載・放映実績	34
	(11) 広告の状況	35
	(12) 海外広報	36
	(13) 公式ウェブサイト等	36
	(14) 公式ガイドブック	39
	(15) 来場者の情報源	39
10	関係団体等との連携	40
	(1) こえび隊との連携	40
	(2) 地元や企業との連携	41
	(3) 関係市町との連携	42
11	交通の状況	43
	(1) 海上交通の整備	43
	(2) 島内交通の整備	46
	(3) 本土側港付近の交通整備	47

(4) 芸術祭 6 島周遊乗船 2 日券	48
12 ツーリストへの対応	49
(1) 旅行商品・ツアーの造成	49
(2) インフォメーションセンター・案内所の運営	51
(3) 緊急情報等の提供	51
(4) 無料 Wi-Fi スポットの設置	51
(5) 主な情報提供ツール	51
(6) 手荷物預かりサービス	52
13 各会場の運営状況	53
14 実行委員会の収支状況	54
(1) 芸術祭閉幕時における収支状況（見込み）	54
(2) 実行委員会の県内業者発注状況	55
15 寄付協賛金	56
16 芸術祭関連予算	57
(1) 芸術祭関連の県費執行事業	57
(2) 緊急雇用創出基金事業	57
17 来場者の滞在状況等	59
(1) 滞在状況	59
(2) 観光地への訪問	59
18 瀬戸内の名産品リデザインプロジェクト	61
19 広域連携の状況	62
20 芸術祭に対する評価	63
(1) 島民の評価（意見交換会から）	63
(2) 島民の評価（島民アンケートから）	69
(3) 香川県文化関係者の評価（文化関係者アンケートから）	70
(4) 来場者の評価（来場者アンケートから）	72
21 芸術祭 2010 と 2013 の対比	73

1 実施概要

名 称	瀬戸内国際芸術祭 2013 「アートと島を巡る瀬戸内海の四季」 SETOUCHI TRIENNALE 2013	
開催期間	春：2013年3月20日（春分の日）～4月21日（日）	33日間
	夏：2013年7月20日（土）～9月1日（日）	44日間
	秋：2013年10月5日（土）～11月4日（月・休）	31日間
会 場	直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島、本島、 高見島、栗島、伊吹島、高松港周辺、宇野港周辺	
テ ー マ	海の復権	
主 催	瀬戸内国際芸術祭実行委員会	
	会長	：浜田恵造（香川県知事）
	名誉会長	：真鍋武紀（前香川県知事）
	副会長	：竹崎克彦（香川県商工会議所連合会会長） 大西秀人（高松市長）
	総合プロデューサー	：福武総一郎（公益財団法人福武財団理事長）
	総合ディレクター	：北川フラム（アートディレクター）
	構成団体	：以下 47 団体
	香川県、高松市、丸亀市*1、坂出市*1、観音寺市*1、三豊市*1、土庄町、小豆島町、直島町、多度津町*1、玉野市*2、（公財）福武財団、（公財）福武教育文化振興財団、香川県市長会、香川県町村会、四国経済産業局、四国地方整備局、四国運輸局、国立療養所大島青松園、四国経済連合会、香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、（一社）香川経済同友会、香川県農業協同組合、香川県漁業協同組合連合会、（株）百十四銀行、（株）香川銀行、香川大学、四国学院大学、徳島文理大学、高松大学、香川県文化協会、（公財）四国民家博物館、（公社）香川県観光協会、（一社）日本旅行業協会中国四国支部香川地区会、（公財）高松観光コンベンション・ビューロー、香川県ホテル旅館生活衛生同業組合、四国旅客鉄道（株）、高松琴平電気鉄道（株）、香川県旅客船協会、（一社）香川県バス協会、香川県タクシー協同組合、（公財）香川県老人クラブ連合会、香川県婦人団体連絡協議会、（公社）日本青年会議所四国地区香川ブロック協議会、香川県青年団体協議会、さぬき瀬戸塾	
	<small>*1 2012年3月29日(第10回総会)から、*2 2011年11月9日(第9回総会)から</small>	
	オブザーバー	：以下 3 団体
	岡山市、岡山県商工会議所連合会、岡山大学	

実行委員会組織図



2 経緯

2004年度	若手職員(香川県)による政策研究『『現代アート王国かがわ』の確立』で「アートアイランド・トリエンナーレの開催」を提言
2005年3月	直島福武美術館財団が「瀬戸内アートネットワーク構想」を発表、5年毎に複数の島々を会場とする文化芸術イベントを提唱
2006年度	香川県観光交流局のアートツーリズム事業において、直島と高松、小豆島、丸亀、坂出を結ぶ航路便「アートシャトル」を実験運航
2007年9月	香川県議会9月定例会において芸術祭への参画を表明
2008年4月25日	実行委員会設立総会
2008年11月11日	実行委員会第2回総会 「瀬戸内国際芸術祭基本計画」策定
2009年3月20日	実行委員会第3回総会 「瀬戸内国際芸術祭実施計画」策定
2009年12月21日	実行委員会第4回総会 「瀬戸内国際芸術祭詳細計画(素案)」発表
2010年3月30日	実行委員会第5回総会 「瀬戸内国際芸術祭詳細計画」策定
2010年7月19日	瀬戸内国際芸術祭2010開幕
2010年10月1日	実行委員会第6回総会(書面表決) 名誉会長の設置
2010年10月31日	瀬戸内国際芸術祭2010閉幕
2010年12月20日	実行委員会第7回総会 瀬戸内国際芸術祭2010総括報告 2013年に次回開催することを決定
2011年3月28日	実行委員会第8回総会
2011年11月9日	実行委員会第9回総会 「瀬戸内国際芸術祭2013基本計画」策定
2012年3月29日	実行委員会第10回総会 「瀬戸内国際芸術祭2013実施計画」策定
2012年10月16日	実行委員会第11回総会 「瀬戸内国際芸術祭2013事業別詳細計画」策定
2013年3月20日	瀬戸内国際芸術祭2013開幕
2013年4月21日	瀬戸内国際芸術祭2013春会期閉幕
2013年5月31日	実行委員会第12回総会
2013年7月20日	瀬戸内国際芸術祭2013夏会期開幕
2013年9月1日	瀬戸内国際芸術祭2013夏会期閉幕
2013年10月5日	瀬戸内国際芸術祭2013秋会期開幕
2013年11月4日	瀬戸内国際芸術祭2013閉幕

3 アート作品

- 瀬戸内国際芸術祭 2013 には、26 の国と地域から 200 組の作家が参加した。
- 作品数は 207 点、イベント数は 40 であった。

会場	番号	作家名	作品名・プロジェクト名・施設名
直島	001	大竹伸朗	直島銭湯「I♥湯」
	002	西沢大良 緑川洋一	宮浦ギャラリー六区 緑川洋一展 I (夏会期) / II (秋会期)
	003	安藤忠雄	ANDO MUSEUM
	004	宮島達男	家プロジェクト「角屋」Sea of Time '98ほか
	005	杉本博司	家プロジェクト「護王神社」アプロプリエイト プロポーション
	006	ジェームズ・タレル	家プロジェクト「南寺」バックサイド・オブ・ザ・ムーン
	007	須田悦弘	家プロジェクト「基会所」
	008	千住博	家プロジェクト「石橋」ザ・フォールズ/空(くう)の庭
	009	大竹伸朗	家プロジェクト「はいしゃ」舌上夢/ボッコン視
	-	内藤礼	家プロジェクト「きんざ」このことを
	010	三分一博志	三分一博志建築構想展
	011	杉本博司	ベネッセハウス パーク アートツアー 光の棺/苔の観念
	012	アンソニー・カロ	Final Call
	013		ベネッセハウス ミュージアム
		国吉康雄	ベネッセアートサイト直島の原点—国吉康雄展(春会期~6/9)
	014	李禹煥 安藤忠雄	李禹煥美術館
	015	安藤忠雄	地中美術館
		ウォルター・デ・マリア	
		クロード・モネ	
		ジェームズ・タレル	
E01		直島春祭~崇徳院奉納芸能会~	
E02	直島女文楽	鎮守の社~古の舞~	
E03	指輪ホテル	あんなに愛し合ったのに/Massive Water	
豊島	016	トビアス・レーベルガー	あなたが愛するものは、あなたを泣かせもする (日本フランチャイズバージョン)
	017	木下晋	100年の間ほか
	018	横尾忠則	豊島横尾館
		永山祐子	
	019	石上純也	moutain project
	020	森万里子	トムナフーリ
	021	青木野枝	空の粒子/唐櫃
	022	安部良	島キッチン
	023	ピピロッチェ・リスト	あなたの最初の色(私の頭の中の解(ソリューション)— 私の胃の中の溶液(ソリューション))
	024	ジャネット・カーディフ& ジョージ・ビュレス・ミラー	ストーム・ハウス
	025	内藤礼	豊島美術館
		西沢立衛	
	026	イオベット&ボンズ	勝者はいない—マルチ・バスケットボール

会場	番号	作家名	作品名・プロジェクト名・施設名
豊島	027	クリスチャン・ボルタンスキー	心臓音のアーカイブ
	028	塩田千春	遠い記憶
	029	クレイグ・ウォルシュ&ヒロミ・タンゴ	かがみ-青への想い
	030	マイク+ダグ・スターン	Big Bambú
	E04	音の絵本	音の絵本Ⅱ よだかの星 音の絵本Ⅵ 注文の多い料理店
女木島	031	木村崇人	カモメの駐車場
	032	木村崇人	カモメ用駐車場
	033	禿鷹墳上	20世紀の回想
	034	愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム	MEGI HOUSE
	035	愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム	愛知県立芸術大学国際交流展
	036	大竹伸朗	女根ノめこん
	037	レアンドロ・エルリッヒ	不在の存在
	038	行武治美	均衡
	039	杉浦康益	段々の風
	040	フィリップ・アルタス	カタツムリの軌跡
	041	オニノコ プロダクション	オニノコ 瓦プロジェクト
	E05	愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム	鈴木謙一郎ピアノコンサート「喜びの島～女木島Ⅳ」
		愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム	掛谷勇三ピアノコンサート「喜びの島～女木島Ⅴ」
		愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム	北住淳ピアノコンサート
		愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム	交流校作曲家コンサート「マイケル・シェリーの世界」
		愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム	先端系音楽コンサート「MEGI」
		愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム	熊谷公博 ふる里に歌う「緑の島のコンサート」
		愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム	ピアノコンサート「喜びの島～女木島Ⅵ」
	E06	愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム	バリテュー-32重低音の魅力
		愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム	海のファンファーレ
E07	木村崇人	木もれ陽プロジェクト《星の島》	
E08	マリア・ヴィルツカラ& ティモ・トリッカ	世界の子ども創作劇プロジェクト 海へのお話 ～トーベ・ヤンソンに捧ぐ～	
男木島	042	ジャウメ・プレンサ	男木島の魂
	043	矢野恵利子	あたりまえと当たり前と
	044	西堀隆史	時の廊下
	045	眞壁陸二	男木島 路地壁画プロジェクト wallalley
	046	オンバ・ファクトリー	オンバ・ファクトリー
	047	石塚沙矢香	うつしみず
	048	川島猛とドリームフレンズ	タイム・チューブー ーとき まき つつ の家
	049	高橋治希	SEA VINE
	050	谷口智子	オルガン
	051	栗真由美	記憶のボトル
	052	漆の家プロジェクト	漆の家
	053	角文平	AIR DIVER(エアーダイバー)
	054	山口啓介	歩く方舟
055	TEAM 男気	男気プロジェクト	

会場	番号	作家名	作品名・プロジェクト名・施設名
男木島	056	会田誠	みんなといっしょ おぎじま / 男木島土人プロジェクト / 哲学と美術#3 存在と時間
		有馬純寿	音楽実験室 / 男木学校チャンネル
		大岩オスカー	鏡の部屋
		小沢剛	ポスターの写真
		パルコキノシタ	男木校長 / おたのしみ会(祭りの後バージョン) / 芸術の本棚
	057	アーサー・ファン	光の家
小豆島	058	チェ・ジョンファ(崔正化)	太陽の贈り物
	-		土庄郵便局舎アートプロジェクト
	059	目	迷路のまち〜変幻自在の路地空間〜
	060	長澤伸穂	うみのうつわ
	061	齋藤正人	猪鹿垣の島
	062	武蔵野美術大学わらアートチーム (代表:宮島慎吾)	わらアート
	063	ワン・ウエンチー(王文志)	小豆島の光
	064	西沢立衛	福武ハウス〜アジア・アート・プラットフォーム
		アジアリンク ジャクソン・スラタリー	Monument within a sculpture
		チェメティ・アート・ハウス イワン・アーメット	脆弱な泡
		香港アートセンター ジャファ・ラム・ラム、ホ・クウオン・ラウ	Home
		台湾歴史資源経理学会 ウェイリン・ヤン	布輪の海
		ジム・トンブソン・アートセンター ニバン・オラニウエート	思い出が彼らを連れ戻してくれる
		ソウル・アートスペース・クムチョン チェ・ソン	マゼンタ・ペインティング
		ザ・サブステーション グレース・タン	静けさの中で
	065	岸本真之	つぎつぎきんつぎ
	066	小山真徳	讃州土産巡礼
	067	越後正志	火のないところに煙は立たず
	068	古川弓子	眺望絶佳
	069	柚木恵介	瀬戸ノ島景
	070	臼井英之	神様のおなら
	071	吉田夏奈	花寿波島の秘密
	072	升谷絵里香	Wander Island
	073	佐藤隼	空間収集-小豆島の自然と生きていたもの-
	074	赤坂有芽	stories -House-
	075	ジェームズ・ジャック	夕焼けハウス: 言語が宿る家
	076	東京藝術大学プロジェクト	小豆島 Story of the Island
		椿昇	坂手港+醬の郷プロジェクト
	077	ヤノベケンジ	スター・アンガー
	078	ビートたけし×ヤノベケンジ	ANGER from the Bottom
	079	UMA/design farm+MUESUM	Creator In Residence「ei」
	080		壺井栄生誕地お花畑プロジェクト
	081	加茂昂	醤油倉庫レジデンスプロジェクト
		小山泰介	
		鈴木基真	
		織咲誠	
	082	ドットアーキテクト	Umaki camp

会場	番号	作家名	作品名・プロジェクト名・施設名	
小豆島	083	小豆島町民＋山崎亮＋studio-L	小豆島町コミュニティアートプロジェクト	
	084	島田陽	おおきな曲面のある小屋	
	085	清水久和	オリーブのリーゼント	
	086	graf	小豆島カタチラボ	
	E09	坂本頼光、鈴木広志、大口俊輔、小林武文	キネマと音楽のタペin瀬戸内	
	E10	野村万蔵家一門、中山農村歌舞伎保存会	狂言・農村歌舞伎公演in棚田の里	
	E11		シンポジウム、パフォーマンスショー「バングラデシュプロジェクト」	
	E12		シンポジウム「アジア・アート・プラットフォーム構想をめぐってー私たちはグローバル化にどのように向き合うのか」	
	E13		シンポジウム「中国現代アート事情Ⅱ ディスカッション」	
	E14		小豆島 石の未来のシンポジウム 第1章 小豆島 石の魅力創造シンポジウム・ジオサイト探訪	
	E15	ままごと	小豆島 石の未来のシンポジウム 第2章 大阪城と小豆島 瀬戸内海「海の道」・北浦の太鼓まつり 港の劇場	
大島	087	やさしい美術プロジェクト	{つなかりの家}カフェ・シヨル	
	088	やさしい美術プロジェクト	{つなかりの家}資料展示室	
	089	やさしい美術プロジェクト	{つなかりの家}海のこだま	
	090	田島征三	青空水族館	
	E16	田島征三	大島あおぞら市	
犬島	091	柳幸典	犬島精錬所美術館	
		三分一博志		
	092	フィオナ・タン	シーサイド犬島ギャラリー Cloud Island I Project for the Venice Architecture Biennale,2010	
		妹島和世		犬島「家プロジェクト」
		長谷川祐子		
	093	名和晃平	F邸/Biota(Fauna/Flora)	
	094	荒神明香	A邸/リフレクトゥ	
	095	荒神明香	S邸/コンタクトレンズ	
	096	妹島和世	中の谷東屋	
	097	ジュン・グエン=ハツシバ	C邸/The Master and the Slave:Inujima Monogatari	
	098	前田征紀	I邸/Universal Reception/Universal Wavelength/Prayer	
	099	浅井裕介	石職人の家跡/太古の声を聴くように、昨日の声を聴く	
	E17	藤原和	犬島楽茶	
E18	維新派	MAREBITO		
沙弥島	100	ターニャ・プレミンガー	階層・地層・層	
	101	藤山哲朗＋富井一級建築設計事務所	沙弥島・西ノ浜の家	
		戸矢崎満雄		
		大畑幸恵		
		佐久間華		
	102	林健太郎	SHIRO	
		五十嵐靖晃	そらあみ	
	104	藤本修三	八人九脚	
	E19	齋木崇人	瀬戸内の魅力と沙弥島	
E20	市民煎茶グループ 曙	万葉集講演とその茶会ー柿本人麻呂論と万葉茶会ー		
本島	105	石井章	Vertrek「出航」	
	106	カリン&パット/川口豊・内藤香織	シーボルトガーデン	
	107	村尾かずこ	漆喰・鏝絵かんぱんプロジェクト	

会場	番号	作家名	作品名・プロジェクト名・施設名
本島	108	本間純	耳鳴り
	109	森節子	崩壊と再生の中で
	110	カ五山 (加藤力、渡辺五大、山崎真一)	つなぐ
	-	岩田草平×プロマイノリティ	New port-青い香辛料-
	111	齊藤正×続・塩飽大工衆	善根湯×版築プロジェクト
	112	平良亜弥と西岡万里子	ここにいるために
	113	猪熊弦一郎	都市流動
	E21	鬼太鼓座	烏兔匆々 千歳の思いを一打に込めて
高見島	114	西山美なコ	新なぎさ号・キュート・アップ作戦
	115	小松敏宏	Sea Room
	116	若林亮	望郷の火
	117	市村富美夫+中川裕孝+ テキスタイル研究室	畏敬・よみがえる失われたかたち
	118	小西通博+楠本衣里佳+ 河野有希+藤野裕美子	高見島へのオマージュ
	119	青木亜樹	刻
	120	迫鉄平	サブミッション・ハウス
	121	中島伽耶子	うつりかわりの家
	122	吉野央子	蛸の家
	123	内田晴之+小川文子+田辺桂	除虫菊の家
	124	板持廃村再生プロジェクト 実行部隊	板持廃村再生プロジェクト
	125	野村正人	海のテラス
	E22	相内啓司+桜井真樹子	水軍女王
	粟島	126	佐々木類
127		麻生祥子	凧に漕ぎ出す
		滝沢達史	スサノヲ
128		久保田沙耶	漂流郵便局
129		濱野貴子	続粟島モノガタリ
130		中島健	U.F.O.A
131		田村友一郎	島の鬼を巡る
		水谷一	雲もみな波とぞ見ゆる 海人もがないづれか海と 問ひて知るべく
132		戸田祥子	腹の上の島
133		日比野克彦	瀬戸内海底探査船美術館プロジェクト
		ETAT/エリック・トーンクヴィスト& マーリン・ベルフラーヂュ	海の図書館
		山本浩二	粟島製塩所
-		坂田阿希子	コッペサンド舎
134		山田紗子	須田港待合所プロジェクト
伊吹島	135	豊福亮+Chiba Art School	沈まぬ船
		大岩オスカー	大岩島2
	136	石井大五	トイレの家
	137	キム・テボン(金泰範)	小さな島のささやき
	138	向井山朋子	夜想曲
	139	LUNA..CLIP..	歩み
	140	関口恒男	伊吹島レインボーハット
	141	みかんぐみ+岡昇平+ 神奈川大学曾我部研究室	伊吹しまづくりラボ
	E23	向井山朋子	夜想曲
	E24		夜のまち歩き~よるしるべ2013~

会場	番号	作家名	作品名・プロジェクト名・施設名	
高松	142	大巻伸嗣	Liminal Air-core-	
	143	磯辺行久	潮流の中の島々/不確かな風向(備讃瀬戸)	
	144	本間純	待つ人 / 内海さん	
	145	谷山恭子	I'm here. ここにいるよ。	
	146	レアンドロ・エルリッヒ	美しく捨てられて	
	147	ヴェロニク・ジュマール	ウェルカム / ファニーブルー	
	148	荒木経惟	アラキー列車	
	149	丹下健三 生誕100周年プロジェクト	「丹下健三 伝統と創造 瀬戸内から世界へ」展	
	150	Douglas BROOKS and Koji MATANO	船と船を作る人	
		KOSUGE1-16+靴郎堂本店	Skin Project	
		永島香苗・小松智香	はじまりのまち	
		山端篤史	笑玉プロジェクト	
		umi・tama®	讃岐童女	
		小沢敦志	オザ・メタルスタジオ高松	
		愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム	ジャンクワーク	
		角文平	夢枕の舟	
		西堀隆史	編編	
		村尾かずこ	鏝絵工房	
		みかんぐみ+岡昇平+ 神奈川大学曾我部研究室		
		鞍掛純一+日本大学芸術学部 彫刻コース有志	チャール・ドルボン	
		山本哲也	山POTTOSHOP TAKAMATSU	
		齋藤正人	小豆島の猪鹿垣	
		バングラデシュプロジェクト	高松港・アート工房ーベンガル島ー	
		151		バングラデシュ絵画の精髓
		E25	丹下健三 生誕100周年プロジェクト	シンポジウム
		E26	椿昇	高松うみあかりプロジェクト
		E27		現代源平屋島合戦絵巻
宇野	152	淀川テクニク	宇野のチヌ	
	153	小沢敦志	舟底の記憶	
	154	荒木経惟	PARADISE(Pは、鏡文字)	
	155	荒木経惟	PARADISE(Pは、鏡文字)	
	156	デイヴィッド・シルヴィアン	abandon/hope	
	157	白井美穂	Una	
	158	荒木経惟	PARADISE(Pは、鏡文字)	
		デイヴィッド・シルヴィアン	abandon/hope	
	159	佐内正史	島島	
	160	野村佐紀子	プラチナ・ポートレート	
	161		「連絡船」写真プロジェクト(公募展)	
	-	こえび隊+こへび隊	宇高連絡線・機関車わらアート号	
	E28		Unaイベント	
	全体・回遊	162	ジョゼ・デ・ギマランイス	フラワー
163		ジョゼ・デ・ギマランイス	ハッピースネーク	
164		EAT & ART TARO	島スープ	
165		イ・シュンヤア(李淑雅)	仏教の味わい	
E29			ファンファーレ	
E30		粟島ふる里劇団	粟島ふる里劇団遠征公演	

会場	番号	作家名	作品名・プロジェクト名・施設名
全体・回遊	E31	南果歩×小野寺修二 (カンパニーデラシネラ)	人魚姫
	E32	四国学院大学身体表現と 舞台芸術マネジメント・メジャー	御前会議 -四国学院編-、あゆみ(短編)
	E33		サクソフォーン・アイランド
	E34	田場恵美子	歌舞音曲の旅 島と太鼓
	E35	三田村管打団?	歌舞音曲の旅 島と楽団
	E36	橋本啓子	歌舞音曲の旅 島と歌
	E37	堀川久子	歌舞音曲の旅 島と踊り
	E38	Team BankART Tongshinsa	続・朝鮮通信使
	E39	カンパニー デイディエ・テロン	膨らんだ冒険
	E40	リン・シュンロン(林舜龍)	国境を越えて・海

● 参加した 200 組の作家のうち、香川県関係者は以下の 21 組である。

会場	番号	作家名	作品名・プロジェクト名・施設名
直島	E02	直島女文楽	鎮守の社～古の舞～
女木島	041	オニノコ プロダクション	オニノコ 瓦プロジェクト
男木島	043	矢野恵利子	あたりまえと当たり前と
	046	オンバ・ファクトリー	オンバ・ファクトリー
	048	川島猛とドリームフレンズ	タイム・チューブー ーとき まき つつ の家
	052	漆の家プロジェクト	漆の家
	055	TEAM 男気	男気プロジェクト
小豆島	071	吉田夏奈	花弄波島の秘密
沙弥島	101	藤山哲朗＋ 富井一級建築設計事務所	沙弥島・西ノ浜の家
本島	105	石井章	Vertrek「出航」
	107	村尾かずこ	漆喰・鍍絵かんぱんプロジェクト
	111	齊藤正×続・塩飽大工衆	善根湯×版築プロジェクト
	112	平良亜弥と西岡万里子	ここにいるために
	113	猪熊弦一郎	都市流動
高見島	125	野村正人	海のテラス
伊吹島	141	みかんぐみ＋岡昇平＋ 神奈川大学曾我部研究室	伊吹しまづくりラボ
高松	150	永島香苗・小松智香	はじまりのまち
		山端篤史	笑玉プロジェクト
		umi・tama®	讃岐童女
		村尾かずこ	鍍絵工房
		みかんぐみ＋岡昇平＋ 神奈川大学曾我部研究室	
全体・回遊	E30	栗島ふる里劇団	栗島ふる里劇団遠征公演
	E32	四国学院大学身体表現と舞台芸術マネジメント・メジャー	御前会議 -四国学院編-、あゆみ(短編)

4 概況

瀬戸内国際芸術祭 2013 は、前回の芸術祭に引き続き、「海の復権」をテーマに、平成 25 年 3 月 20 日から会期を春、夏、秋の 3 つに分けて計 108 日間、前回の会場である直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島及び高松港・宇野港周辺に、新たに沙弥島、本島、高見島、粟島、伊吹島の中西讃の 5 島を加えて開催した。

来場者数については、夏会期の記録的な猛暑や秋会期の度重なる台風の接近にも関わらず、順調に推移し、会期半ば過ぎ（8/15、60 日目）に 50 万人を突破し、最終的には予想を超える約 107 万人に達した。また、会期中の主催・共催イベントには、総計 8 万人を超える来場があった。

来場者の傾向としては、前回の芸術祭に引き続き 20～30 歳代の女性の割合が顕著であり、特に東京や大阪など都会からの来場が目立った。また、全都道府県からの来場があり、香川・岡山が約 47.1%、関東・関西が 34.3%となっている。

好調な人出を背景に、地元メディアはもとより全国でも新聞や雑誌、テレビなど様々な媒体で大きく取り上げられ、海外でも多くのメディア露出があった。各メディアの評価は概ね好評であり、来場者を対象に実施したアンケートでも全体の 9 割以上が好意的評価をしており、8 割以上が次回開催の際には来たいと答えている。

また、芸術祭全般を紹介する公式ウェブサイトには 165 の国と地域から約 213 万件のアクセスがあり、Twitter アカウントのフォロワー数も 1 万 7 千に迫る勢いであった。また、平成 24 年 8 月に Facebook の公式サイトを開設したところ、人気度を示す Facebook アカウントの「いいね！」の件数が 11 月 1 日時点で 2 万件を超えるなど、芸術祭の注目度の高さを示している。

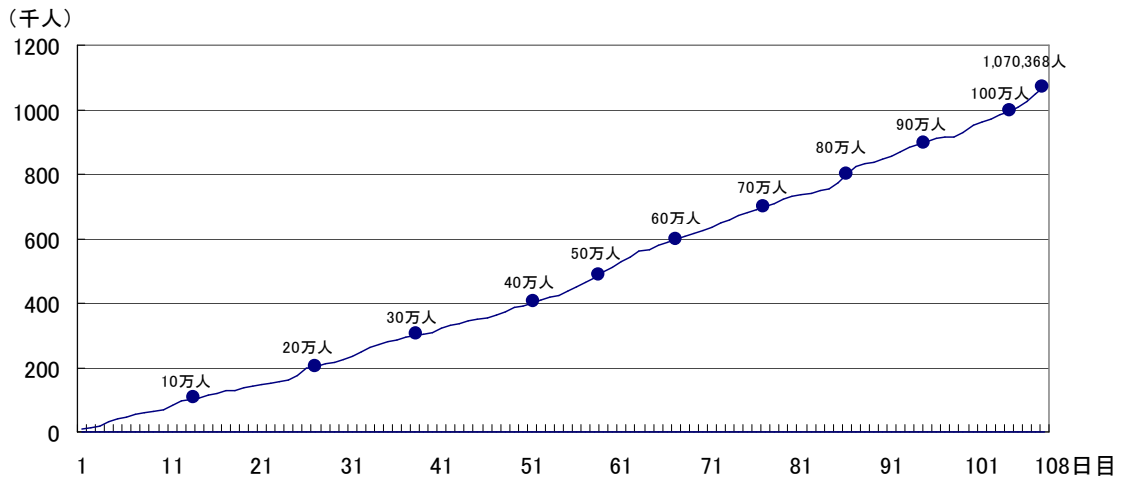
好評の要因としては、各作品の質の高さやアートを道しるべに、島々を巡りながら、心癒す瀬戸内海の風景と、そこで育まれた島の文化や暮らしに出会うという新しいスタイルの芸術祭であること、そして、作家が島民と交流し、島の伝統・文化を感じ取り、その島でしか生み出すことのできない素晴らしいアート作品を創作したこと、さらには、各島の住民やボランティアサポーターであるこえび隊との心温かな交流などが、都会の若い世代をはじめとする幅広い層に受け入れられたものと考えられる。

5 来場者の状況

(1) 来場者数

- 来場者数は、春会期が 263,014 人、夏会期が 435,370 人、秋会期が 371,984 人であった。3 会期通しては、13 日目に 10 万人を突破、60 日目には 50 万人、105 日目には 100 万人に達し、最終的には 1,070,368 人となった。

■ 入場者数累計



- 秋会期中の土・日曜日には 1 日平均 1 万 8 千人を超える来場があり、3 連休中日となる 10 月 13 日 (日) には、1 日の最多来場者数となる 27,562 人の来場があった。

- 会場別では、新規施設も加わり知名度も高い直島が全体の24.8%、作品施設数が大幅に増加した小豆島が18.3%、豊島が12.2%と続いた。また、新規開催エリアでは、1シーズンのみであったものの、沙弥島が7.3%、本島が2.6%、高見島が2.3%、栗島が3.0%、伊吹島が3.5%であった。継続開催エリアの女木島、男木島は5%前後であった。

■会場別来場者数

会場名	来場者数 (人)	会場別 割合	1日平均 (人)	最多来場日	最多来場日 来場者数 (人)
直島	265,403	24.8%	2,457	10月13日 (日)	6,288
豊島	130,123	12.2%	1,205	11月3日 (日)	2,886
女木島	57,582	5.4%	533	10月13日 (日)	1,488
男木島	49,712	4.6%	460	10月13日 (日)	1,345
小豆島	196,357	18.3%	1,818	10月13日 (日)	5,515
大島	4,544	0.4%	42	10月27日 (日)	160
犬島	61,809	5.8%	572	10月13日 (日)	1,685
沙弥島	77,693	7.3%	2,354	4月14日 (日)	7,300
本島	28,372	2.6%	915	10月13日 (日)	2,427
高見島	24,371	2.3%	786	10月13日 (日)	2,150
栗島	32,412	3.0%	1,046	10月13日 (日)	2,404
伊吹島	37,706	3.5%	857	8月18日 (日)	1,657
高松港	68,160	6.4%	631	8月4日 (日)	1,943
宇野港	36,124	3.4%	334	11月4日 (月)	1,299
合計	1,070,368	100.0%	9,911	10月13日 (日)	27,562

【来場者数のカウントについて】

来場者数は、会期中実際に何人の人が芸術祭のために島などの会場に入ったか（芸術祭の来場者のあたま数）を直接的に計測することは困難なことから、前回芸術祭と同様、各島において集落のバランスなどに配慮して基準施設を設け、その合計数をその島の来場者数として集計した。詳細は14ページの基準施設一覧を参照。

■基準施設一覧

会場	基準施設	春会期	夏会期	秋会期
直島	003 ANDO MUSEUM	○	○	○
	007 家プロジェクト「碁会所」	○	○	○
	013 ベネッセハウスミュージアム	○	○	○
	015 地中美術館	○	○	○
豊島	018 豊島横尾館		○	○
	022 安部良「島キッチン」	○	○	○
	025 豊島美術館	○	○	○
	027 クリスチャン・ボルタンスキー	○	○	○
	029 クレイグ・ウォルシュ&ヒロミ・タンゴ	○	○	○
女木島	036 大竹伸朗	○	○	○
	037 レアンドロ・エルリッヒ	○	○	○
男木島	044 西堀隆史	○	○	○
	056 昭和40年会	○	○	○
小豆島	059 迷路のまちー変幻自在の路地空間～	○	○	○
	060 長澤伸穂	○	○	○
	063 ワン・ウェンチー（王文志）	○	○	○
	064 福武ハウス～アジア・アート・プラットホーム		○	○
	071 吉田夏奈	○	○	○
	078 ビートたけし×ヤノベケンジ	○	○	○
	081 醤油倉庫レジデンスプロジェクト	○	○	○
大島	- 官用船乗船者数	○	○	○
犬島	091 犬島精錬所美術館	○	○	○
	093 犬島家プロジェクト「F邸」	○	○	○
沙弥島	100 ターニャ・プレミンガー	○		
	102 戸矢崎満雄/大畑幸恵/佐久間華/林健太郎	○		
本島	106 カリン&パット/川口豊・内藤香織			○
	108 本間純			○
高見島	118 小西通博+楠本衣里佳+河野有希+藤野裕美子			○
	122 吉野央子			○
栗島	127 麻生祥子/滝沢達史			○
	133 日比野克彦/ETAT/山本浩二			○
伊吹島	135 豊福亮+Chiba Art School/大岩オスカー		○	
	141 みかんぐみ+岡昇平+神奈川大学曾我部研究室		○	
高松港	143 磯辺行久	○	○	○
	146 レアンドロ・エルリッヒ	○	○	○
	150 高松港・アート工房ーベンガル島ー		○	
宇野港	153 小沢敦志	○	○	○
	157 白井美穂	○	○	
	158 荒木経惟/デイヴィッド・シルヴィアン		○	○
	- 宇高連絡線・機関車わらアート号			○

(2) 来場者の傾向

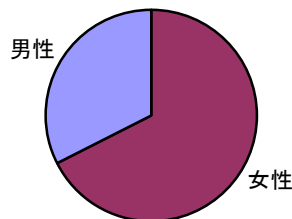
芸術祭会期中の来場者を対象に実施したアンケート調査に基づく来場者の傾向は次のとおり。

＜来場者アンケート実施概要＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術祭各会場となる島から、高松、宇野及び最寄りの港に向かう来場者を対象にアンケート用紙を配布し、下船港で回収した。 ・ 春会期中は、3月28日～4月18日(4月6日、7日除く)の20日間、夏会期中は、7月29日～8月4日及び8月10日～8月18日の16日間、秋会期中は、10月13日～10月27日の15日間実施した。 ・ 合計で17,297枚の回答があった。 	
【春会期】	
調査日	3月28日～4月18日(4月6日、7日を除く20日間)
調査期間中来場者数	156,504人
回収枚数	5,961枚
【夏会期】	
調査日	7月29日～8月4日及び8月10日～8月18日(16日間)
調査期間中来場者数	186,472人
回収枚数	5,840枚
【秋会期】	
調査日	10月13日～10月27日(15日間)
調査期間中来場者数	178,122人
回収枚数	5,496枚
【合計】	
調査日数	51日間
調査期間中来場者数	521,098人
回収枚数	17,297枚

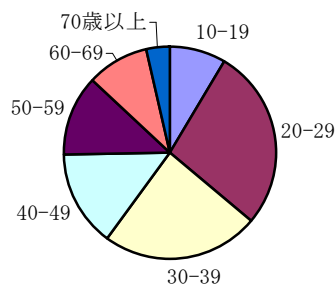
① 来場者の属性

- 男女別では、女性が約7割、男性が約3割となっている。
- 年代別では、20歳代が27.6%、次いで30歳代が23.9%であった。

性別	割合
女性	67.5%
男性	32.5%
総計	17,239人

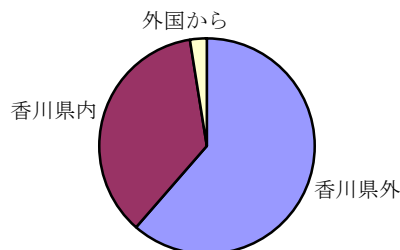


年齢層	割合
10-19	8.6%
20-29	27.6%
30-39	23.9%
40-49	14.6%
50-59	12.1%
60-69	9.7%
70歳以上	3.5%
回答数	17,113人

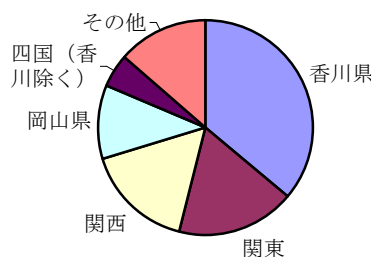


- 県外からの来場者が 61.3%、県内からが 36.1%、外国からが 2.6%であった。
- 県外の地域別では、関東が 17.8%、関西が 16.5%、岡山県が 11.0%となっている。
- 全ての都道府県からの来場があった。

居住地	割合
香川県外	61.3%
香川県内	36.1%
外国から	2.6%
回答数	16,930人



地域	割合
香川県	36.1%
関東	17.8%
関西	16.5%
岡山県	11.0%
四国（香川除く）	5.0%
その他	13.6%
回答数	16,930人



■都道府県別来場者数

都道府県名	人数	割合	都道府県名	人数	割合	都道府県名	人数	割合
北海道	71人	0.43%	石川県	37人	0.22%	岡山県	1,854人	11.24%
青森県	5人	0.03%	福井県	25人	0.15%	広島県	398人	2.41%
岩手県	13人	0.08%	山梨県	13人	0.08%	山口県	66人	0.40%
宮城県	24人	0.15%	長野県	35人	0.21%	徳島県	254人	1.54%
秋田県	3人	0.02%	岐阜県	61人	0.37%	愛媛県	419人	2.54%
山形県	14人	0.08%	静岡県	153人	0.93%	高知県	179人	1.09%
福島県	29人	0.18%	愛知県	386人	2.34%	香川県	6,108人	37.04%
茨城県	52人	0.32%	三重県	59人	0.36%	福岡県	217人	1.32%
栃木県	37人	0.22%	滋賀県	151人	0.92%	佐賀県	11人	0.07%
群馬県	45人	0.27%	京都府	401人	2.43%	長崎県	15人	0.09%
埼玉県	334人	2.03%	大阪府	1,255人	7.61%	熊本県	29人	0.17%
千葉県	292人	1.77%	兵庫県	794人	4.82%	大分県	22人	0.13%
東京都	1,599人	9.70%	奈良県	135人	0.82%	宮崎県	8人	0.05%
神奈川県	650人	3.94%	和歌山県	61人	0.37%	鹿児島県	3人	0.02%
新潟県	30人	0.18%	鳥取県	61人	0.37%	沖縄県	14人	0.08%
富山県	29人	0.18%	島根県	38人	0.23%	合計	16,489人	100.00%

- 外国からは、台湾、韓国、フランス、香港からの来場者が多い。

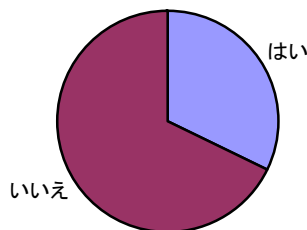
■ 国・地域別来場者数

国名	人数	割合	国名	人数	割合
台湾	129人	29.2%	ドイツ	6人	1.4%
韓国	55人	12.5%	スペイン	5人	1.1%
フランス	43人	9.8%	マレーシア	4人	0.9%
香港	40人	9.1%	アイルランド	3人	0.7%
アメリカ合衆国	37人	8.4%	デンマーク	3人	0.7%
オーストラリア	20人	4.5%	インドネシア	2人	0.4%
イギリス	16人	3.6%	フィンランド	1人	0.2%
中国	10人	2.3%	アラブ首長国連邦	1人	0.2%
シンガポール	10人	2.3%	スコットランド	1人	0.2%
タイ	10人	2.3%	スウェーデン	1人	0.2%
オランダ	8人	1.8%	チェコ	1人	0.2%
イタリア	7人	1.6%	オーストリア	1人	0.2%
スイス	7人	1.6%	イスラエル	1人	0.2%
ニュージーランド	6人	1.4%	ベトナム	1人	0.2%
カナダ	6人	1.4%	合計	441人	100.0%
ベルギー	6人	1.4%			

- 前回の芸術祭にも来場した、いわゆるリピーター来場者は、全体の32.2%であった。
- リピーター来場者の居住地は、香川県が半数以上を占め、関西、岡山県と続く。

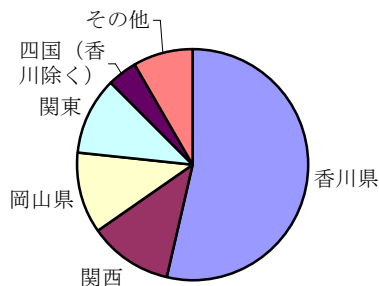
前回2010年芸術祭への来場の有無

回答	割合
はい	32.2%
いいえ	67.8%
回答数	16,216人



リピーター来場者の居住地

地域	割合
香川県	53.6%
関西	11.6%
岡山県	11.6%
関東	10.7%
四国（香川除く）	4.1%
その他	8.4%
回答数	5,224人

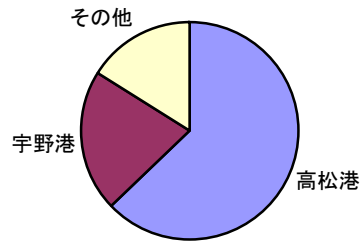


② 来場者の利用港

- 来場者全体、地元（香川・岡山）以外、いずれも高松港が60%以上となっている。

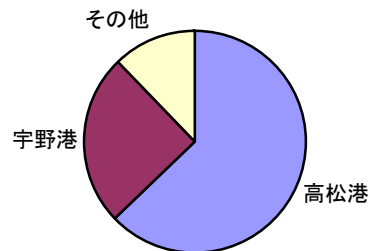
来場者全体

来場経路	割合
高松港	62.8%
宇野港	21.0%
その他	16.2%
回答数	16,496人



地元（香川・岡山）以外の来場者

来場経路	割合
高松港	62.8%
宇野港	25.0%
その他	12.2%
回答数	8,847人

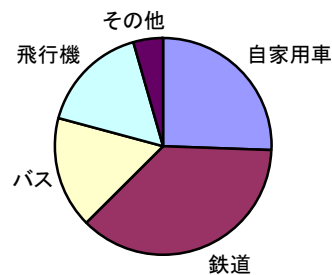


③ 会場への交通手段

- 会場への交通手段については、地元（香川・岡山）以外では、鉄道、自家用車、バス、飛行機の順で利用が多い。

地元（香川・岡山）以外

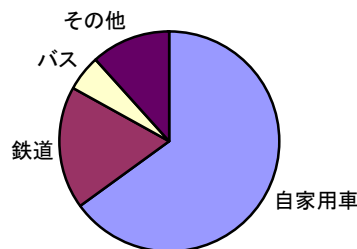
交通手段	割合
自家用車	25.5%
鉄道	37.1%
バス	16.5%
飛行機	16.5%
その他	4.4%
回答数	9,789人



- 地元では、65.1%が自家用車利用となっている。

地元（香川・岡山）

交通手段	割合
自家用車	65.1%
鉄道	18.0%
バス	5.3%
その他	11.6%
回答数	7,806人



6 芸術祭開催による効果

今回の芸術祭が、地域経済や地域の活性化、イメージアップに与えた効果について、産業連関分析や関係者（宿泊事業者、飲食事業者、商店街関係者、美術館関係者等）へのアンケート調査、各島でのヒアリング調査などを行った結果、次のような成果があったところである。

(1) 経済波及効果

- 平成 17 年度産業連関表（総務省）、平成 17 年度香川県産業連関表（香川県）を用いて推計した香川県内における経済波及効果は以下のとおりである。

経済波及効果	直接効果	1 次波及効果	2 次波及効果
132 億円 うち春会期 27 億円 夏会期 59 億円 秋会期 46 億円	77 億円 うち春会期 16 億円 夏会期 34 億円 秋会期 27 億円	29 億円 うち春会期 6 億円 夏会期 13 億円 秋会期 10 億円	26 億円 うち春会期 5 億円 夏会期 12 億円 秋会期 9 億円

直接効果： 芸術祭の来場者による県内消費額等から、財・サービスの調達を県外に頼らざるを得ないなど、県外に消費が流れる部分を控除したもの

1 次波及効果： 直接効果によって県内各産業の生産額が増加した額

2 次波及効果： 直接効果及び 1 次波及効果によって生じた雇用者所得の増加分が、新たな消費に向けられることにより、県内各産業の生産額が増加した額

前提条件： 実来場者数は、瀬戸内国際芸術祭実行委員会が期間中に実施したアンケート結果や各会場へ向かう航路の乗船人数推計値等を踏まえ、30 万人と推計。

※ 株式会社日本政策投資銀行及び瀬戸内国際芸術祭実行委員会が共同で作成

県内における経済波及効果は 132 億円であり、前回と比較すると 21 億円の増加（対前年比 118%）となっている。会期で見ると夏会期の波及効果が最も多く、全体の 45% を占めている。帝国データバンク及び日本銀行高松支店における香川県景気動向調査でも瀬戸内国際芸術祭効果に言及があるなど、来訪者の増加が地域経済の活性化につながったことが確認できる。

- 関係事業者に対するアンケートの調査結果によると、宿泊事業者においては、全体の 75% が芸術祭の開催効果があったと答えている。高松港周辺の宿泊客数は対前年比 10～30% の増加となり、小豆島内では最大で対前年比 30% 増となった。
- 飲食事業者及び商店街関係者においては、全体の 80% が芸術祭の開催効果があった（売上増や来店客数増に貢献した）と答えている。例えば、高松シンボルタワー内マリタイムプラザに入居する物販・飲食テナントにおいては、芸術祭開催期間中は、売上ベースで対前年比 119%、客数ベースで 130% となり、前回の芸術

祭開催時期と比較しても、売上ベースで113%、客数ベースで109%に増加している。また、JR高松駅の主な店舗においても、3～10月の間、売上ベースで対前年比106%程度で推移した。

- 交通関係においては、会場となる島々への関係航路利用者が対前年比138.1%となった。方面別では、いずれも対前年比で、直島方面が121.9%、豊島・犬島方面が274.1%、男木島・女木島方面が246.0%、小豆島方面が109.2%となったほか、中西讃方面においても大幅な増加となった。夏会期開催の伊吹島方面は424.4%、秋会期開催の本島・高見島・粟島方面は780.1%であった。
- 芸術祭の開催に合わせて「ことでん・JR瀬戸内国際芸術祭きっぷ」が発売されたことも後押しとなり、ことでん、JR四国の利用者数はいずれも増加傾向となった。また、快速マリンライナーの利用者数は、対前年比104%となった。
- 高松空港リムジンバスは、会期中の利用率が対前年比で126%となり、遠方からの来場者の高松港へのアクセス向上に貢献した。
- サポート高松地下駐車場の利用状況は、対前年比で111%となり、芸術祭会場へのマザーポートとしての高松港利用に伴う経済効果があったと確認できる。
- 香川県内の主要美術館※の入館者数は、芸術祭開催期間中は、対前年比105%となったほか、芸術祭の来場者に香川・岡山県内他施設等を回遊してもらうことを目的とした割引協力施設においては、芸術祭会場付近の施設を中心に、利用者数は対前年比増加傾向となった。

※ 香川県立ミュージアム、香川県立東山魁夷せとうち美術館、高松市美術館、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館の合計

(2) 地域の活性化

- 男木島では、芸術祭を契機に帰郷を希望する世帯があり、休校中（小学校は平成20年から、中学校は平成23年から）である男木小中学校が平成26年4月から再開することとなった。
- 大島では、芸術祭を契機として、芸術関係者との交流拡大や島外からの来訪者の増加により、将来にわたり振興を図ろうとする気運が高まり、入所者、専門家等による「大島の在り方を考える会」が設置され、大島青松園の歴史等を後世に伝えることや、島の景観を活かした今後の在り方についての検討を始めることとなった。

- 春会期に沙弥島でプロジェクトを展開した神戸芸術工科大学と地元坂出市の間で、それぞれの持つ人材や知識などを活かし、相互に協力する包括協定を締結し、坂出市のまちづくりを芸術工学の観点から推進する取組みを始めることとなった。
- このほかにも、芸術祭の開催を契機に、地域の「絆」が再認識又は新たに生み出され、島民に将来への「自信」が生じるなど、以下のような島の活力を取り戻す様々な取組みが、目に見える形で現れ始めている。
- 豊島では、豊島美術館の整備を契機に、地域住民と(公財)福武財団との協働により、豊島の原風景である棚田の景観維持の活動が長期スパンで取り組まれている。また、第1回、第2回と芸術祭の回数を重ねるごとに、作品管理のための地域パトロールの活動などを通して、地域住民の関わりが広がるケースが見られた。
- 女木島では、島内に滞在して創作されたイベントが開催され、また多くの県内の中学生が参加した作品展開もあり、島民がアーティストや参加者など島外の人との交流を通じて、改めて島の素晴らしさを知る機会につながったとの声があった。これにより、島民自身、自分の島に対する関心が強まり、今後もこのような交流を続けていきたいとの気運が生まれた。
- 小豆島では、島民と来場者との交流を目的としたアート作品があり、交流を通して、地域の中の結びつきが強まるとともに、この施設を地域活動の拠点として、今後も活用しようとする動きにつながるケースがあった。また、芸術作品ができたことを契機に、作品を地域の宝として守っていく気運が生まれ、地元自治会で作品周辺の清掃を行うなど、景観保全の取組みが始まるケースもあった。そのほか、参加アーティストの中には、作品制作を通じて島の自然や人と関わる中で、土地や人の魅力に惹かれ、そのまま滞在し、移住するケースもあった。
- 本島では、芸術祭の作品制作を通して、普段は関わることがない、世代の違う者同士の絆が強まった。特に、若い世代においても島のことに積極的に関わっていかうという姿勢が生まれ、今後も幅広い世代にわたり、強い絆で島民同士が結ばれることが期待されるケースがあった。
- 高見島では、作品制作のため来島した京都精華大学の学生や教員などの島外の人と、島民が長く接することで、自分の住んでいる島に自信が持てたという声があった。島民の中には、今後も継続的に島外の人と交流していきたいという意欲が生まれており、島民自身の島に対する関心が強まったという効果が見られた。
- 粟島では、芸術祭の開催に際し、芸術祭作品の案内に独自の表示を島内各所に配置したり、島全体の情報を発信するため、島民が自主的に運営する独自の案内

所を設けるなど、芸術祭に島全体で関わる積極的な対応が見られた。粟島芸術家村事業による下地もあり、これら活動の広がりが継続して期待される。

- 伊吹島では、芸術祭の準備、作品制作、芸術祭期間中の来訪者へのおもてなしなど、長期間の取組みを通して、島民同士の絆がさらに強くなった。これらの活動を通じて、島民の間には次回の芸術祭開催の際には、もっと積極的に参加しようとする気運が醸成された。
- 宇野港周辺では、芸術祭の開催を契機に、地元有志による港周辺の清掃活動が作品周辺の清掃活動へと取組みが広がるケースが見られた。地元ボランティアと来訪者が、声掛けや案内を通じて積極的に交流することで、地元のおもてなしに対する意識が強まった。また、商店街では、移住者が新店舗を開業するなど、まちの賑わいづくりに向けた効果が出始めた。
- そのほか、芸術祭会場以外でも、「かがわ・山なみ芸術祭」をはじめ、地域に根ざした新たなアートプロジェクトやイベント等が各地で開催されるようになった。

(3) 地域のイメージアップ

- 広報媒体では、新聞、テレビ、雑誌等の各種メディア等、前回より多くの媒体に取り上げられ、国内外に情報発信された。掲載・取材の際には、芸術祭のコンセプトや特徴などを丁寧に説明することで、背景にある地域の自然環境の豊かさや文化、歴史などを効果的に発信することができた。
- 北海道から九州の全国の旅行会社では、芸術祭を組み込んだツアーパンフレットが多数作成されたほか、関東・関西を中心に芸術祭専用のパンフレットが作られるなど、芸術祭への誘客や情報発信が図られた。
- また、芸術祭は、地域の活性化を目的とした先進的な地域イベントとして、取組みが注目を集めており、県外の地域振興関係者の視察が多数あった。その実績としては、県及び市議会議員団体関係が 14 件、国及び県市の地方公共団体等が 11 件、大学などの教育機関が 5 件、公的な基金団体が 4 件、そのほかの団体等の視察を含めると計 44 件あり、うち外国人団体の視察が 5 件あった。

7 作品鑑賞パスポートの販売状況等

- 作品鑑賞パスポートの販売実績は、前回の88,437枚を上回る92,475枚となった。
- その内訳は、3シーズン券の販売枚数が37,981枚で、全体の41.1%となった。1シーズン券の販売枚数は、【春】前売：3,331枚、当日：2,096枚、【夏】前売：7,384枚、当日：16,297枚、【秋】前売：10,975枚、当日：10,334枚で、全体の54.5%となった。
- また、芸術祭会場の島民を対象に販売した島民パスポートの販売枚数は、前を上回る4,077枚であった（全体の4.4%、前回販売実績：2,783枚）。

区分	枚数	
3シーズン券	37,981	A
春シーズン券	5,427	B
夏シーズン券	23,681	C
秋シーズン券	21,309	D
小計	88,398	E=A+B+C+D
島民パスポート	4,077	F
総販売枚数	92,475	G=E+F

[前売券+当日券]

販売枚数(含・高校生)

	実行委員会事務局 ^{*1}	実行委員会構成団体 ^{*2}	実行委員会関連団体 ^{*3}	コンビニ・プレイガイド	旅行代理店	その他 ^{*4}	合計
11月	244	121	9	49	18	0	441
12月	284	124	32	47	47	44	578
1月	348	991	23	188	26	14	1,590
2月	827	1,876	340	558	1,072	431	5,104
3月	6,377	6,351	638	4,774	712	2,436	21,288
4月	6,235	1,925	743	2,634	727	2,094	14,358
5月	79	33	0	56	5	27	200
6月	241	82	15	361	17	35	751
7月	1,460	671	210	4,604	1,050	656	8,651
8月	6,539	1,731	869	2,123	1,362	1,471	14,095
9月	220	206	66	2,112	236	541	3,381
10月	4,603	2,774	755	4,445	823	1,734	15,134
11月	941	162	140	153	1,027	404	2,827
計	28,398	17,047	3,840	22,104	7,122	9,887	88,398

*1 実行委員会事務局(県芸術祭推進室)で直接販売したもの(総合インフォメーションセンター等での販売を含む)

*2 県や高松市、土庄町、小豆島町、直島町、福武財団の関係組織など実行委員会の負担金拠出団体で販売したもの

*3 その他の実行委員会関係団体や、自治体で販売したもの

*4 JR西日本やJR四国、船会社、高速バスなどの交通関係団体、高松ホテル旅館生活衛生同業組合などの宿泊関係団体、郵便局、宮脇書店などで販売したもの

- 新たな取組みとしては、中学生以下の子どもを対象に、無料で作品を鑑賞できるこどもパスポートを作成し、会期前、香川県、岡山県玉野市内の小中学生に配布した。会期中は、県外から来場した中学生以下の子どもを対象として、無料配布を行った。
- 作品鑑賞パスポートの販売傾向は、春会期のみ販売した3シーズン券については販売終了の直前が、前売価格が設定された1シーズン券については、前売価格での販売終了の直前が、それぞれピークとなった。
- 販売数が多かったチャンネルは、券種ごとに以下のとおりとなった。
3シーズン券は、香川・岡山の地元住民を中心に購入されたため、地域に広く展開する郵便局窓口や、春会期に地元住民の来場が多かった沙弥島会場での販売が多かった。
一方、1シーズン券は、全国展開するコンビニや旅行代理店での販売が多かった。中でも夏会期では、学生層やファミリー層が利用しやすいコンビニが、秋会期では、団体旅行客が利用する旅行代理店やJR各駅の窓口が、それぞれ主な販売チャンネルとなった。
- 販売促進策としては、委託販売契約先を前回の82か所から115か所に増やし、販売窓口を広げるとともに、県内地元企業のみならず、県外へも丁寧な販促営業を行った。販売チャンネルごとの販売促進策としては、コンビニ等では、店頭でのチラシやポスター掲出、販促POP掲出、レシート印刷、メルマガ会員への告知などを行った。旅行代理店に対しては、計画的に商品造成の営業を行い、様々な商品の造成を促進した。そのほか、JR関連として、管内主要駅に販促チラシを設置するとともに、車内中吊り広告の掲出を行った。また、NEXCO西日本と連携を図り、高速道路沿線でのSAやPA、料金所等でポスター、チラシの掲出を行った。

作品鑑賞パスポート(左から3シーズン、春シーズン、夏シーズン、秋シーズン)



こどもパスポート



8 イベントの開催状況

- アートイベントをはじめとする芸術祭主催・共催イベントは、計 105 イベント、延べ 274 回を開催し、来場者数は計 81,307 人となり、いずれのイベントも概ね満員となった（芸術祭 2010：計 84 イベント、延べ 208 回、来場者数 53,193 人）。
- 作品公募大賞に選ばれた「膨らんだ冒険（カンパニーディディエ・テロン）」をはじめとする、広域・回遊イベントも数多く開催され、様々な島で多くのイベントを鑑賞できる仕組みとした。



「膨らんだ冒険（カンパニーディディエ・テロン）」の様子

- そのほか、開会式、夏会期オープニングイベント、閉会式など、アーティストや地域住民の方々、サポーターなどが一堂に会する記念式典においては、いずれも想定を超える来場者でにぎわった。

会場	作品番号	作家名	作品・プロジェクト名	公演日	来場者数(人)	備考
直島	E01		直島春祭—崇徳院奉納芸能会	3月20日	400	
	E02	直島女文楽	鎮守の社～古の舞～	3月30日	111	1回目
				3月31日	114	2回目
				8月30日	103	
	E03	指輪ホテル	あんなに愛し合ったのに/Massive Water	8月31日	105	
豊島	E04	音の絵本	音の絵本Ⅱ よだかの星	8月25日	61	
			音の絵本Ⅵ 注文の多い料理店			
	022	島キッチン	こえび音楽会	7月27日	72	
			テラスの輪	8月3日	96	
			ジャズコンサート(川本睦子)			
			テラスの輪	8月10日	124	
			かのんぶ♪コンサート(かのんぶ♪)			
			テラスの輪	8月13日	132	
			ふたりびあ(笠井明日香・松浦さおり)			
			テラスの輪	10月5日	72	
似顔絵紙切りショウ!(チャンキー松本)						
テラスの輪「あしおとで遊ぼう!」	10月19日	65				
タップダンスショウ&ワークショップ(おどるなつこ)						
島キッチン感謝祭	11月4日	180				

会場	作品番号	作家名	作品・プロジェクト名	公演日	来場者数(人)	備考
女木島	E05	愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム	MEGI HOUSEコンサート	3月21日	31	
			鈴木謙一郎ピアノコンサート「喜びの島～女木島Ⅳ」	4月20日	60	
			掛谷勇三ピアノコンサート「喜びの島～女木島Ⅴ」	7月27日	55	
			交流校作曲家コンサート「マイケル・シェリーの世界」	8月10日	50	
			先端系音楽コンサート「MEGI」	8月17日	65	
	E06	愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム	熊谷公博 ふる里に歌う「緑の島のコンサート」	10月19日	40	
			ピアノコンサート「喜びの島～女木島Ⅵ」	10月20日	90	
	E07	木村崇人	女木島内コンサート企画	10月20日	90	
			バリテュー32重低音の魅力	11月4日	123	
			海のファンファーレ	7月20日	26	
				7月21日	30	
				7月26日	56	
				7月27日	53	
				7月28日	27	
				8月2日	18	
				8月3日	42	
				8月4日	51	
				8月9日	37	
				8月10日	84	
				8月11日	58	
				8月12日	98	
				8月13日	111	
				8月14日	100	
				8月15日	91	
				8月16日	70	
				8月18日	115	
				8月23日	53	
			8月25日	42		
			8月30日	66		
			8月31日	51		
	9月1日	20				
E08	マリア・ヴィルツカラ & ティモ・トリッカ	世界の子ども創作劇プロジェクト	8月17日	135		
		海へのお話 ～トーベ・ヤンソンに捧ぐ～	8月18日	143		
男木島	056	昭和40年会	鏡の中の絵を描こう！ 大岩オスカル	7月21日	15	
			開校式/昭和40年会ヒストリー	7月21日	35	
			音楽実験室 野外授業#1 有馬純寿	7月28日	20	
			特別ゼミ CAMP 百年後の教育	8月3日	42	
				8月3日	28	
			会田誠の週末恒例・ハーベキュー大会！ (と言いつつごちんまり…)	8月11日	37	
				8月17日	30	
				8月24日	33	
			芸術体育×音楽科学講座 有馬純寿、松蔭浩之	8月4日	20	
			美術鑑賞/中国現代美術 スンシュン映像作品上映	8月8日	60	
			中国現代アート事情 I プレゼンテーション	8月8日	43	
				8月9日	-	※1
				8月12日	-	※1
			巨大地上絵を描く パルコキノシタ	8月16日	-	※1
				8月19日	-	※1
				8月20日	-	※1
			社会科 ワークショップ 小沢剛と小沢剛研究室の学生	8月9日	54	
				8月11日	110	
			群島電子音楽祭part1 有馬純寿	8月10日	67	
			カッパを探そう パルコキノシタ	8月11日	17	
			男木校長プレゼンツ しばてん座ライブ	8月11日	72	
			大きな紙に鷹の絵を描こう パルコキノシタ	8月13日	14	
			巨人福笑いをつくろう パルコキノシタ	8月14日	13	
			かぶりもの大行進 パルコキノシタ	8月15日	19	
			男木校長プレゼンツ	8月17日	117	
			松本力+VOQワークショップ+ライブ	8月17日	117	
			精霊を探そう旅 パルコキノシタ	8月18日	16	
			「砂山」上映と監督によるトーク 松蔭浩之	8月24日	18	
			星空☆上映会 松蔭浩之	8月24日	50	
			芸術的体育の日 松蔭浩之	8月25日	44	
			オルタナティブ人形劇団「劇団★SHIKI」@男木島・ 何らかの成果発表会～♡会田誠	8月25日	50	
			白井式卓球グランプリ卓球大会 松蔭浩之	9月1日	45	
				10月26日	16	
			「芸術と体育の秋」ワークショップ 松蔭浩之	10月27日	22	
			男木校長「秘密基地」ワークショップ	10月27日	16	
			特別ゼミ 80年代生まれの作家たち	11月2日	41	
			現在とこれからのアートシーン	11月2日	41	
			地上絵リベンジ？もっと大胆に パルコキノシタ	11月3日	-	※1
			「土人@男木島」トーク&上映会 会田誠	11月3日	50	
			群島電子音楽祭part2 有馬純寿	11月4日	116	
			閉校式/昭和40年会トーク	11月4日	61	

会場	作品番号	作家名	作品・プロジェクト名	公演日	来場者数(人)	備考
小豆島	E09	坂本頼光、鈴木広志、大口俊輔、小林武文	キネマと音楽の夕べin瀬戸内	8月16日	203	
	E10	野村万蔵家一門、中村農村歌舞伎保存会	狂言・農村歌舞伎公演in棚田の里	11月4日	500	
	E11	福武ハウス	シンポジウム、パフォーマンスショー「バングラデシュプロジェクト」	7月21日	140	
	E12		アジア・アート・プラットフォーム構想をめぐって—私たちはグローバル化にどのように向き合うのか	7月22日	100	
	E13		シンポジウム「中国現代アート事情Ⅱ」ディスカッション	8月10日	52	
	E14	小豆島石の未来シンポジウム	小豆島石の魅力創造シンポジウム ジオサイト探訪	10月6日	350	シンポ ツアー
			大阪城と小豆島瀬戸内海「海の道」・北浦の太鼓まつり	10月20日	400	
	E15	ままごと	港の劇場 おさんぼ演劇『赤い灯台、赤い初恋』	4/5~21	125	
			港の劇場 おさんぼ演劇『さかのぼり、まだ見ぬ家へ』	4/12~21	143	
			港の劇場 演劇『日本の大人』	8/25~27	168	
	港の劇場 島めぐりライブ『うたのかけら』		10/12~14	100		
	港の劇場 おさんぼ演劇『赤い灯台、赤い初恋』		10/17~11/5	98		
	港の劇場 おさんぼ演劇『さかのぼり、まだ見ぬ家へ』		10/31~11/4	61		
		港の劇場 道ばたダンス『しようしようしよう』	10/19~11/3	300		
		港の劇場 紙しばい『オンオンちゃんどヒイヒイちゃん』他	10/19~11/4	250		
大島	E16	田島征三・ロバの音楽座	大島おおぞら市	10月27日	170	
犬島	E17	藤原和	犬島楽茶	4月7日	50	
				8月3日	104	
				8月4日	96	
				10月26日	120	
				10月27日	120	
	E18	維新派	MAREBITO	10月5日	338	
				10月6日	358	
				10月7日	264	
				10月9日	254	
				10月10日	241	
				10月11日	296	
				10月12日	400	
				10月13日	431	
				10月14日	401	
沙弥島	E19	齋木崇人	瀬戸内の魅力と沙弥島	3月30日	60	
E20	市民煎茶グループ曙	万葉集講演とその茶会 ～柿本人麻呂論と万葉茶会～	4月14日	400	講演会 茶会	
本島	E21	鬼太鼓座	烏兔忽々 千歳の思いを一打に込めて	10月6日	312	
高見島	E22	相内啓司+桜井真樹子	水軍女王	10月26日	192	
E23	向井山朋子	夜想曲	8月17日	307		
伊吹島	E24		夜のまち歩き～よるしるべ2013～	7月20日	23	
				7月27日	23	
				8月3日	21	
				8月10日	25	
				8月17日	23	
				8月24日	23	
				8月31日	34	
高松港	149	丹下健三生誕100周年プロジェクト	「丹下健三 伝統と創造～瀬戸内から世界へ～」展	7/20~9/23	15,293	
	E25		シンポジウム	8月17日	400	
			香川県庁舎ガイドツアー	8月18日	700	
	150	バングラデシュ・プロジェクト	高松港・アート工房・ベンガル島ー	7/20~9/1	34,884	
	E26	椿昇	高松うみあかりプロジェクト	7/20~9/1	-	※1
E27		現代源平屋島合戦絵巻	10月14日	5,000		
宇野港	E28	Unaイベント	佐内正史×野村佐紀子×本尾久子 瀬戸内海女×JACKIE クリストフ・シャルル+稲田光造	7月21日	28	
			伊東篤宏	7月27日	24	
			OKIBIKI(沖啓介+biki)、瀬戸内海女	8月3日	27	
			シニギワ(長寛寛幸+松井茂)	8月10日	18	
			西原尚+瀬戸内海女	8月17日	35	
			山川冬樹	8月24日	51	
			表現(Hyogen): 権頭真由、佐藤公哉、園田空也、古川麦	10月12日	32	
			Code"M":MAKI、岩田卓也、相川瞳	10月19日	119	

会場	作品番号	作家名	作品・プロジェクト名	公演日	来場者数(人)	備考
広域・回遊	E29		ファンファーレ	3月20日	-	高松 ※2
	E30	粟島ふる里劇団	粟島ふる里劇団遠征公演	3月20日	-	直島 ※3
				9月1日	58	男木島
				11月3日	116	粟島
	E31	南果歩×小野寺修二 (カンパニーデラシネラ)	人魚姫	3月20日	-	直島 ※3
				4月19日	240	豊島
				4月20日	325	男木
				4月21日	436	女木
				7月20日	344	小豆島
				7月21日	327	高松
				10月5日	394	本島
				10月6日	415	粟島
	E32	四国学院大学身体表現と 舞台芸能マネジメント・メジャー	御前会議-四国学院編- あゆみ(短編)	7月26日	145	高松
				7月28日	68	粟島
	E33		サクソフォン・アイランド	8月30日	20	豊島
					64	小豆島
					50	直島
				8月31日	50	女木島
					35	女木島他
				9月1日	60	男木島
					50	伊吹島
	E34	田場恵美子	歌舞音曲の旅 島と太鼓	7月20日	80	直島
				7月27日	305	豊島
				7月28日	700	伊吹島
	E35	三田村管打団?	歌舞音曲の旅 島と楽団	8月3日	300	豊島 小豆島
					8月4日	380
				10月13日	350	高見島 粟島
	E36	橋本啓子	歌舞音曲の旅 島と歌	10月6日	73	男木島
				10月20日	45	高見島
				10月27日	62	粟島
	E37	堀川久子	歌舞音曲の旅 島と踊り	10月19日	61	高見島
				10月20日	54	高見島
				10月26日	75	本島
10月30日				81	本島	
E38	Team BankART Tongshinsa	続・朝鮮通信使	10/21~26	-	各島 ※1	
E39	カンパニーディディエ・テロン	膨らんだ冒険	10月17日	179	直島 宇野	
			10月18日	187	女木島 男木島	
			10月19日	181	高松 本島	
			10月20日	107	粟島	
E40	リン・シュロン/ ツァイス-劇団	国境を越えて・海	7月21日	100	豊島	
			7月23日	45	女木島	
			7月24日	44	大島	
			7月28日	205	小豆島	
記念式典	-		開会式	3月20日	1,000	高松
	-		夏会期オープニングイベント	7月20日	500	高松
	-		閉会式	11月4日	675	高松
				合計	81,307	

※1 イベントの性質上、来場者数のカウントが困難である。
 ※2 開会式におけるイベントであるため、カウントしない。
 ※3 直島春祭におけるイベントであるため、カウントしない。

9 広報の状況

(1) 企画発表会・記者会見等

- 高松、東京、大阪において企画発表会を行った。
- また、海外メディアの取材誘致を目的に、日本外国特派員協会（FCCJ）において記者会見を行い、芸術祭のコンセプトを説明した。

開催日	会場	名称／内容
2012年6月24日	サンポートホール高松第2小ホール	企画発表会／新ロゴマーク・ポスター発表、企画概要発表、アーティスト対談
2012年7月27日	東京大学情報学環・福武ホール地下2階ラーニングシアター	企画発表会／企画概要発表
2013年2月6日	ホテルグランヴィア大阪 20F [鳳凰の間]	企画発表会／企画概要発表
2013年2月20日	渋谷ヒカリエ8/COURT	プレス発表会／作品・プログラム発表、コミュニケーションデザイン説明、参加アーティストプレゼンテーション
2013年5月30日	日本外国特派員協会 (FCCJ)	記者会見／海外プレスに対して芸術祭コンセプト説明、質疑応答
2013年6月2日	松下IMPホール(大阪市)	企画発表会／トークイベント
2013年11月4日	JRホテルクレメント高松3F「玉藻」	閉会記者会見

(2) PR キャンペーン等

開催日	会場	名称	内容
2012年7月29日～9月17日	新潟県十日町市	大地の芸術祭	PRブースを設置し、パネル展示、ちらし配布
2012年8月25日、26日	国営讃岐まんのう公園	モンスターバッシュ2012	パネル展示、ちらし配布
2012年10月30日～11月4日	東京ミッドタウン・ホール	DESIGNTIDE TOKYO 2012	ちらし配布
2013年2月20日～3月4日	渋谷ヒカリエ	開幕直前展	企画展、参加アーティストによるトークイベント
2013年7月13日、14日	JR大阪駅	香川県観光PR展	パネル展示、ちらし配布、抽選会、観光大使・マスコットキャラクターによるPR

(3) 広報制作物

- コミュニケーション・ディレクターである原研哉氏にデザインを依頼し、各会期に応じてポスターやチラシ等の広報用印刷物やクリアファイル、缶バッジ等のグッズを展開した。主な印刷物の種別と制作部数は以下のとおり。

・ポスター	9種 (B1、B2、B3)	合計 37,200枚
・チラシ	3種	合計 460,000枚
・ガイドマップ	2種	合計 13,000部 など

左から春会期、夏会期、秋会期のポスター



- ポスター、チラシは主に市町や全国の美術館、学校、公共機関等に発送し、掲出及び配布を依頼した。

(4) プレスツアー

春、夏、秋それぞれの会期の開幕前に、以下のとおり報道関係者向けのプレスツアーを実施した。

開催日	名称	会場	参加者数
2013年3月18日、19日	春会期プレスツアー	直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、犬島、沙弥島、高松港、宇野港	127
2013年7月19日	夏会期プレスツアー	豊島、伊吹島	58
2013年10月4日	秋会期プレスツアー	本島、高見島、栗島	46

(5) 取材用プレス証発行件数

- 春会期プレスツアー初日の3月18日から閉幕日の11月4日までの間で、事務局が取材・撮影のためのプレス証を発行した報道関係者は、国内外合わせて延べ930名であった。
- メディア別の割合は、新聞が約38%、テレビが約31%であり、雑誌が約13%、その他が約13%と続く。

■メディア別プレス証発行数

種別	国内	海外	計
テレビ	275	14	289
ラジオ	26	4	30
新聞	353	1	354
雑誌	115	8	123
ウェブ	14	2	16
その他	115	3	118
計	898	32	930

(6) パブリシティの実績

- 2013年1月以降、新聞・テレビ・雑誌等の各種メディアで、1,699件の掲載・放送があった。
- このうち、地元ローカル（香川・岡山）以外は355件（20.8%）であった。

種別	海外	全国	地方	香川・岡山	計
新聞	5	63	6	1,299	1,373
テレビ	4	18	5	11	38
ラジオ	2	2	8	14	26
雑誌等	17	139	21	20	197
ウェブ	19	46	-	-	65
計	47	268	40	1,344	1,699

- ※ 記事／放送の主眼が芸術祭に置かれているもののみ抽出（テレビ・ラジオのニュースなどを除く）
- ※ 事務局で、掲載・放送の実績を確認できているもののみを集計
- ※ 「地方」は、香川・岡山を除く地方ローカルを指す
- ※ 実績は現在確認中のため、さらに数字は増加する見込み

(7) パブリシティの広告費換算

- 新聞、テレビ、雑誌等に無料で掲載・放送された芸術祭関連記事を広告費換算すると、約33億円*の効果があつた。
- このうち、全国は約8億7千万円、地方は約5千万円、地元ローカル（香川・岡山）は約23億7千万円であつた。

- ※ 株式会社中国四国博報堂による推計。ただし、(11)に記載のものほか、次のものは含まない。
会員誌等、ニュース（テレビ、ラジオ等）、ウェブ関係、海外メディア

(8) 地元メディアでの長期特集

- 四国新聞
 - ・ 「フラムの瀬戸芸鑑賞ガイド」
3月12日～4月21日
6月21日～9月1日
9月14日～11月4日（全164回）
 - ・ ウェブサイトで芸術祭コーナーを設置
- NHK高松（TV）
 - ・ 「ひるまえかがわ」の中で芸術祭情報コーナー
 - ・ 「ゆう6かがわ」の中で芸術祭情報コーナー
 - ・ ウェブサイトで芸術祭コーナー「せとうち再発見」を設置

(9) 国内主要メディアでの掲載・放映実績

● 新聞（全国紙）

- ・ 朝日新聞
3/17 全国版社会面、7/12 全国版生活面、10/6 全国版社会面
- ・ 読売新聞
3/21 全国版総合面、8/1 全国版文化面、10/6 全国版社会面
- ・ 毎日新聞
5/13 全国版社会面、10/6 全国版社会面、10/29 全国版文化面
- ・ 産経新聞
3/21 全国版社会面、7/19 全国版生活面、9/2 全国版社会面
- ・ 日本経済新聞
3/21 全国版社会面、7/20 全国版社会面、9/28 全国版プラス1 など

● 雑誌

- ・ 「BE-PAL」 1/10 発売
- ・ 「Men's JOKER」 3/10 発売
- ・ 「リシェス」 3/28 発売
- ・ 「建築ノート」 4/1 発売
- ・ 「美術屋・百兵衛」 4/12 発売
- ・ 「アエラ」 4/22 発売
- ・ 「日経アーキテクチュア」 4/25 発売
- ・ 「SODA」 4/30 発売
- ・ 「MEN'S NON-NO」 5/10 発売
- ・ 「SPUR」 5/23 発売
- ・ 「日経エンタテイメント」 6/4 発売
- ・ 「美術の窓」 6/20 発売
- ・ 「SAVVY」 6/22 発売
- ・ 「GQ JAPAN」 6/24 発売
- ・ 「マリソル」 7/5 発売
- ・ 「Discover Japan」 7/5 発売
- ・ 「OZ magazine」 7/12 発売
- ・ 「写ガール」 7/30 発売
- ・ 「婦人画報」 8/1 発売
- ・ 「Rola」 8/1 発売
- ・ 「Casa BRUTUS」 8/10 発売
- ・ 「Numero Tokyo」 8/28 発売
- ・ 「MORE」 8/28 発売
- ・ 「家庭画報国際版」 9/1 発売
- ・ 「新建築」 9/1 発売

- ・ 「現代アートがわかる本」 9/5 発売
- ・ 「GLITTER」 9/6 発売
- ・ 「OZ Travel」 9/28 発売
- ・ 「家庭画報」 10/1 発売
- ・ 「DAZZLE」 10/1 発売
- ・ 「TruNatt」 10/1 発売
- ・ 「MOE」 10/3 発売
- ・ 「女子カメラ」 10/19 発売
- ・ 「nonno」 10/20 発売
- ・ 「SODA」 11/1 発売 など

● テレビ

- ・ BS ジャパン 「NIKKEI×BS LIVE 7PM」
(3/28 放映) <全国放送>
 - ・ OHK 「満喫！アートな島めぐり瀬戸内国際芸術祭のススメ」
(5/5 放映)
 - ・ NHK 「日曜美術館 (アートシーン)」
(7/14 放映) <全国放送>
 - ・ RSK 「メッセージ 島から世界へ発信！ ～瀬戸内国際芸術祭・夏～」
(7/31 放映)
 - ・ RNC 「瀬戸内国際芸術祭 2013 夏だ！アートだ！10 の島と港を巡る旅 SP」
(8/3 放映)
 - ・ TBS 「知っとこ！」
(8/17 放映) <全国放送>
 - ・ NHKBS 「たけしアート☆ビート SP～アートで日本を元気にする！～「小豆島編」
(9/22 放映) <全国放送>
 - ・ KSB 「魔法にかかった島々～樹木希林と瀬戸内国際芸術祭～」
(9/28 放映、9/21 BS 朝日でも放映)
 - ・ NHK 「ETV 特集 僕は忘れない～瀬戸内 ハンセン病療養所の島～」
(10/12 放映) <全国放送>
 - ・ TBS 「はなまるマーケット」
(10/18 放映) <全国放送>
 - ・ NHK 「ハートネット TV」
(11/7 放映) <全国放送>
 - ・ RSK 「メッセージ 島が笑った 瀬戸内国際芸術祭 in 粟島」
(11/13 放映)
- など

(10) 海外メディアでの掲載・放映実績

カテゴリ	媒体名	発行／放送	対象エリア
1新聞	The Australian Financial Review	2013/7/25	オーストラリア
	The Japan Times	2013/7/30	英語圏
	東方日報	2013/8/5	香港
	東洋経済日報	2013/8/9	韓国
	太陽報	2013/8/11	香港
2テレビ	NHK WORLD / News Line	2013/8/1	世界各国
	France 24 TV	2013/8/13	世界各国
	NHK WORLD /Journeys in Japan	2013/8/27	世界各国
	Hakka weekly	2013/8/31	台湾
3ラジオ	ABC Radio National / Books and Arts Daily	2013/10/7	オーストラリア
	ABC Radio National / Weekend Arts	2013/10/26	オーストラリア
4雑誌	tokyo weekender	2013/3/1	英語圏
	Art Monthly Austraalia	2013/3/1	オーストラリア
	旅@天下	2013/3/1	中国
	art investment	2013/5/1	台湾
	La Vie	2013/5/5	台湾
	月刊生活	2013/6/1	中国
	needs Hong Kong	2013/6/13	香港
	Seoul Art Guide	2013/7/1	韓国
	ASIANA	2013/7/1	(機内誌)
	Honkong Walker	2013/7/16	香港
	飲食男女	2013/7/26	中国
	Art	2013/9/1	韓国
	CHAMP	2013/10/15	イギリス
	excellence	2013/10/1	ルクセンブルク
	LOOKING TOWARDS THE FUTURE	2013/11/1	イギリス
	CITY MAGAZINE	2013/	香港
	Art & Australia	2013/	オーストラリア
5ウェブ	culture360.org	2013/3/19	シンガポール
	luxury in progress	2013/3/20	スイス
	japan-guide.com	2013/3/31	英語圏
	The Daily Star	2013/4/5	バングラデシュ
	APPLE DAILY	2013/5/6	台湾
	TheJapanTimes	2013/7/29	英語圏
	TheJapanTimes	2013/7/29	英語圏
	TheJapanTimes	2013/7/29	英語圏
	BLOUIN ARTINFO	2013/7/30	アメリカ
	msn LIFESTYLE TRAVEL	2013/8/23	英語圏
	中央日報	2013/8/27	韓国
	MOUVEMENT.NET	2013/10/28	フランス
	Dezeen	2013/10/29	イギリス
	designboom	2013/11/25	イタリア
	japan-guide.com	2013/	英語圏
	artinasia.com	2013/	香港
	The Culture Trip	2013/	イギリス
	artscape japan	2013/	英語圏
	res artis	2013/	オランダ

(11) 広告の状況

新聞	掲載日	大きさ	内容
四国新聞	2月16日(土)	5段カラー	3シーズンパスポート(前売)のPR
	3月10日(日) ～19日(火)	1面表題下カラー	開幕までのカウントダウン
	3月20日(水)	ラッピング60段カラー	春会期ポスター、開催期間中の航路・時刻表
	6月20日(木)	5段カラー	夏シーズンパスポート(前売)のPR
	7月12日(金)	TV面突出しカラー	夏シーズンパスポート(前売)のPR
	7月20日(土)	15段カラー	夏会期ポスター
	8月9日(金)	5段カラー(オアシス)	夏シーズンパスポート(当日)のPR
	9月2日(月)	5段カラー	秋シーズンパスポート(前売)のPR
	9月14日(土)	5段カラー	秋シーズンパスポート(前売)のPR
	10月5日(土)	15段カラー	秋会期ポスター
山陽新聞	2月20日(水)	5段カラー	3シーズンパスポート(前売)のPR
	3月19日(火)	30段カラー	春会期ポスター
	3月28日(木)	3段カラー(レディア)	3シーズンパスポート(当日)のPR
	4月4日(木)	5段カラー	3シーズンパスポート(当日)のPR
	4月21日(日)	3段カラー(さん太タイムズ)	3シーズンパスポート(当日)のPR
	7月4日(木)	記事体広告	夏シーズンパスポート(前売)のPR
	7月14日(日)	半5段カラー(さん太タイムズ)	夏シーズンパスポート(前売)のPR
	7月25日(木)	3段カラー(レディア)	夏シーズンパスポート(当日)のPR
	8月8日(木)	5段カラー	夏シーズンパスポート(当日)のPR
	9月2日(月)	半5段モノクロ	秋シーズンパスポート(前売)のPR
	9月29日(日)	半5段カラー(さん太タイムズ)	秋シーズンパスポート(前売)のPR
	10月10日(木)	3段カラー(レディア)	秋シーズンパスポート(当日)のPR

タウン誌	掲載号	ページ数	内容
NICE TOWN	4月号	17ページ	会場、作品、イベントの紹介 パスポートのPR
	8月号	11ページ	
	10月号	11ページ	
香川こまち 愛媛こまち	4月号	4ページ	
	8月号	4ページ	
	10月号	4ページ	
タウン情報おかやま	4月号	3ページ	
	5月号	4ページ	
	7月号	2ページ	
	8月号	4ページ	
	10月号	4ページ	
LLIO	春号	2ページ	
	夏号	2ページ	
	秋号	2ページ	

(12) 海外広報

海外広報として、主に以下の取組みを行った。

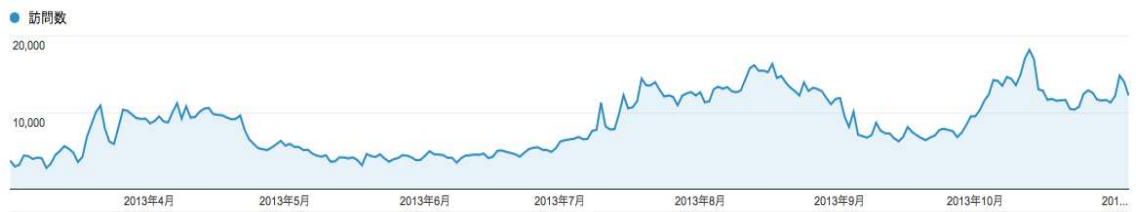
- 北川総合ディレクターによる海外メディア・旅行エージェント等に対する現地 PR
 - ・ 2012年11月 台湾（台北）
 - ・ 2012年12月 韓国（ソウル）
 - ・ 2012年12月 フランス（パリ）
 - ・ 2013年7月 台湾（台北）
- ビジット・ジャパン（VJ）事業を活用した海外メディア・エージェントの招聘
 - ・ 2012年度
韓国、中国、台湾、香港（2013年3月15～17日）
訪問地：直島、豊島、女木島、男木島、小豆島
 - ・ 2013年度
台湾（2013年6月24～27日）
訪問地：直島、豊島、女木島、男木島、小豆島
中国（2013年6月30日～7月4日）
訪問地：直島、豊島、女木島、男木島、小豆島
韓国（2013年7月5～7日）
訪問地：直島、小豆島
- 国際交流基金による海外メディアの招聘
 - ・ 2013年8月 8か国
（韓国、中国、タイ、ルーマニア、アメリカ、チリ、トリニダード・トバゴ、オーストラリア）
 - ・ 2013年11月 10か国
（フィリピン、フランス、オランダ、英国、ベルギー、ポルトガル、エストニア、カナダ、オーストラリア、キューバ）
- 海外メディアの個別招聘
7の国と地域（イギリス、インドネシア、タイ、韓国、香港、オーストラリア、フランス）
- 日本政府観光局（JNTO）海外事務所を通じた広報（チラシ配布、ウェブサイト掲載）

(13) 公式ウェブサイト等

① 芸術祭公式ウェブサイト

- 芸術祭全般を紹介する公式ウェブサイト（setouchi-artfest.jp）には、3月1日から11月4日までで、165の国と地域から、約213万件のアクセス*があった。
（*Google Analyticsによる訪問数。1度のアクセスで複数ページを閲覧しても1件と数える。以下同様）
- このうち95.7%は国内からで、海外からのアクセスは4.3%（約9万2千件）であった。
- 1日で最もアクセス数が多かったのは10月13日（日）の18,178件であった。
- 開幕前後でアクセス数が多かったほかは、期間中ほぼ毎日9千～1万2千件前後のアクセスがあった。
- 春、夏、秋と会期が進むにつれてアクセス数が多くなった。

■芸術祭公式ウェブサイトのアクセス状況



165 国/地域から

国/地域	訪問数	比率	都市	訪問数	比率	OS	訪問数	比率
日本	2,040,927	95.7%	大阪	327,140	15.3%	Windows	964,912	45.2%
台湾	31,214	1.5%	港区	235,270	11.0%	iOS	529,639	24.8%
米国	12,666	0.6%	高松	223,367	10.5%	Android	358,549	16.8%
香港	9,760	0.5%	岡山	97,299	4.6%	Macintosh	269,343	12.6%
韓国	5,456	0.3%	渋谷区	80,149	3.8%	Linux	5,838	0.3%
オーストラリア	4,102	0.2%	名古屋	58,658	2.7%	NTT Docomo	2,223	0.1%
イギリス	3,136	0.1%	世田谷区	57,488	2.7%	(不明)	1,255	0.1%
フランス	2,962	0.1%	横浜	54,458	2.6%	BlackBerry	388	0.0%
シンガポール	2,749	0.1%	福岡	47,018	2.2%	Nintendo Wii	311	0.0%
中国	2,621	0.1%	堺	46,862	2.2%	Windows Phone	228	0.0%
その他	17,667	0.8%	その他	905,551	42.4%	その他	574	0.0%
合計	2,133,260	100.0%	合計	2,133,260	100.0%	合計	2,133,260	100.0%
						うちモバイル	886,928	41.6%

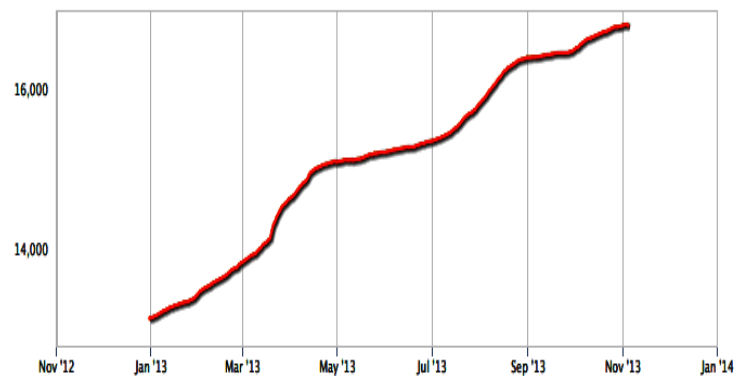
② Twitter (ツイッター)

- 開幕前は、会場となる島の情報や作品の制作状況などを積極的に配信し、会期中は、イベント情報などの提供を行った。
- 人気度を示すフォロワー数の推移を見ると、開幕以降順調にフォロワー数が伸び、日本語アカウントは11月1日時点で16,724に、英語アカウントは1,809となり、なお増加傾向にある。

■Twitter アカウントのフォロワー数

- ・ @setouchi_art_jp (日本語アカウント) のフォロワー数の推移

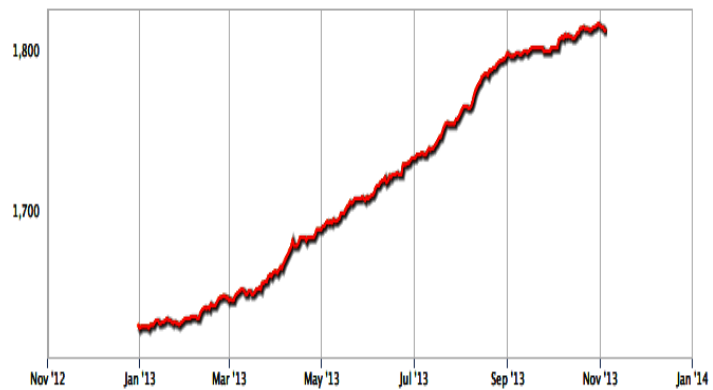
	フォロワー数
1月1日	13,037
2月1日	13,369
3月1日	13,748
4月1日	14,553
5月1日	15,004
6月1日	15,128
7月1日	15,265
8月1日	15,759
9月1日	16,313
10月1日	16,432
11月1日	16,724



- ・ 最高値は11/2の16,727

- @setouchi_art (英語アカウント) のフォロワー数の推移

	フォロワー数
1月1日	1,624
2月1日	1,629
3月1日	1,641
4月1日	1,657
5月1日	1,686
6月1日	1,704
7月1日	1,728
8月1日	1,758
9月1日	1,792
10月1日	1,796
11月1日	1,809



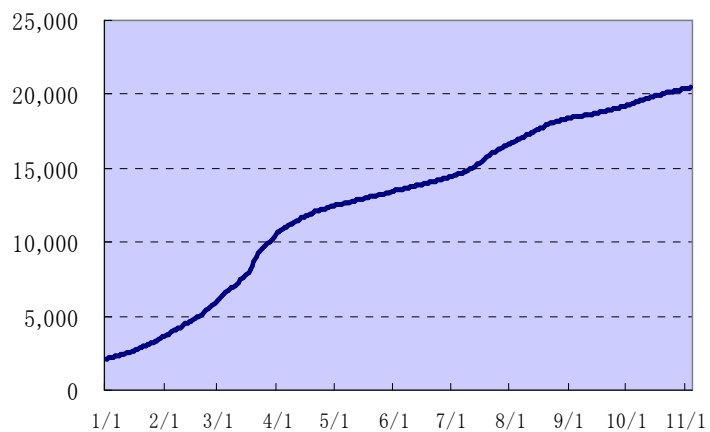
③ Facebook (フェイスブック)

- ウェブ上での新たなコミュニケーションツールとして、急速に普及した Facebook を活用したプロモーションを行うため、2012年8月に公式サイトを開設した。
- 開幕前は作品制作状況等を、会期中はイベントの様子などを随時配信した。
- 人気度を示す「いいね！」件数の推移を見ると、開幕以降順調に件数が伸び、11月1日に20,384に達し、なお増加傾向にある。



- Facebook アカウントの「いいね！」件数の推移

	いいね！件数
1月1日	2,108
2月1日	3,661
3月1日	6,038
4月1日	10,633
5月1日	12,462
6月1日	13,453
7月1日	14,429
8月1日	16,659
9月1日	18,393
10月1日	19,225
11月1日	20,384



(14) 公式ガイドブック

● 春版

● 夏・秋版



- ・ 「美術手帖」(美術出版社) 2013年3月号増刊、2月25日発売開始
- ・ 4.5万部発行
- ・ Amazonの雑誌(アート・建築・デザイン) 売上げランキングで、2月23日から3月31日まで1位を記録した。

- ・ 「美術手帖」(美術出版社) 2013年7月号増刊、7月10日発売開始
- ・ 4万部発行
- ・ Amazonの雑誌(アート・建築・デザイン) 売上げランキングで、購入予約開始の7月5日に1位を記録。以降、10月24日まで3位以内を記録した。

(15) 来場者の情報源

- アンケート調査の結果で見ると、口コミが最も多く14.0%となっている。
- 次いで、新聞、インターネット、雑誌となっている。

情報源(複数回答)	人数	割合
口コミ	3,544人	14.0%
新聞	3,514人	13.9%
インターネット	3,429人	13.6%
雑誌	3,197人	12.6%
ポスター	3,174人	12.5%
掲示物	3,117人	12.3%
TV	2,918人	11.5%
その他	1,636人	6.5%
FaceBook	512人	2.0%
Twitter	269人	1.1%
総計	25,310人	100.0%

10 関係団体等との連携

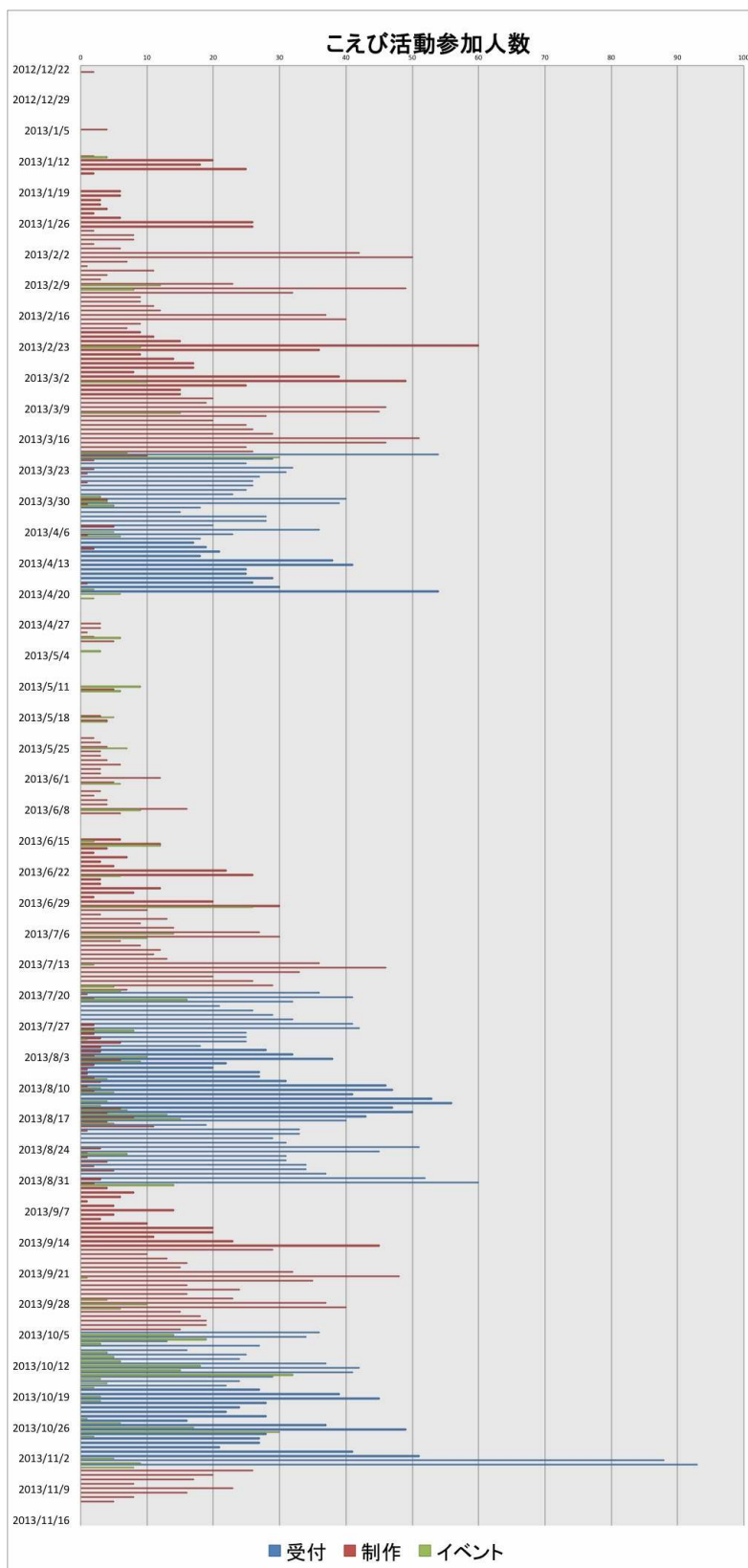
(1) こえび隊との連携

- 前回に引き続き、ボランティアサポーター「こえび隊」が芸術祭の様々な活動を支えた。
- 2012年12月からの作品制作、2013年3月からの作品受付、閉会後の作品撤去など、芸術祭2013のこえび活動に関わった人数（実働人員）は約1,300人、延べ約7,000人となった。

■各活動参加者延べ人数

- ・作品受付：約3,600人
- ・作品制作：約2,800人
- ・イベント：約600人

- 47都道府県のうち、36都道府県からの参加があった。家族での参加や、ニューヨークやパリ、台湾や香港など海外からの参加もあった。
- 各活動への参加は、芸術祭2010と比較してリピート率が高かった。
- 春会期は、県外からの参加が少なかったため、地元のこえび隊を中心に運営した。



- 夏会期は、県外や国外からの長期滞在者が活動を支えた。
- 秋会期は、平日の参加者が少なかったが、後半にかけて県外を中心に参加が増えた。

①作品制作（職人さんと一緒に作業）



②作品受付（シニア層の参加が増えた）



③家族や小学生の参加もあった



● 募集説明会とキャラバン活動

瀬戸内国際芸術祭及びこえび隊を知ってもらうために説明会を開催したほか、県内外のイベントに参加し、キャラバン活動（広報活動）を行った。



(2) 地元や企業との連携

- 企業ボランティア、学校ボランティア、县市町職員ボランティアなど、多くのボランティアが作品や案内所で活躍した。

(3) 関係市町との連携

- 芸術祭の広報プロモーションについて、ポスターの掲示場所やパンフレットの配布先など、関係市町と連携して開拓したほか、地元広報誌や市町ホームページ等の独自の広報媒体を活用するなど、関係市町との連携強化を図った。
- 作品鑑賞パスポートの販売や寄付協賛の募集活動について、営業先の選定から営業活動に際し、関係市町と連携して実施した。
- 開幕直前には、実行委員会と関係市町が協力して、各案内所や作品看板・案内サインの効果的な配置計画を立案し、設営を行った。
- 会期中には、各会場の案内所等の運営や作品管理などの運営に関し、関係市町職員が直接携わるとともに、運営スタッフの手配においても、実行委員会と関係市町が連携して、来場者への対応を実施した。
- 町が行う地元の祭りや伝統芸能などのイベントについて、公式ウェブサイトやガイドブック、イベントパンフレット等で紹介し、PRを図った。

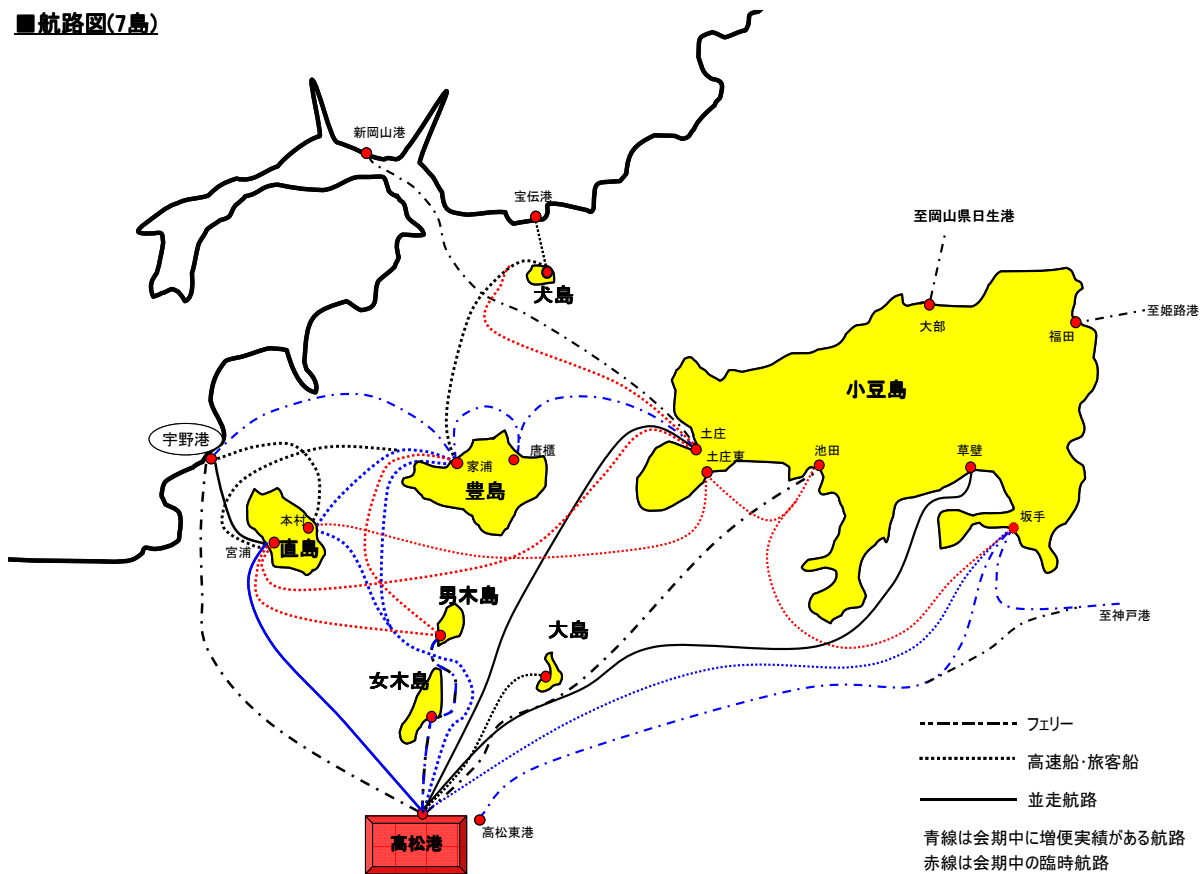
11 交通の状況

(1) 海上交通の整備

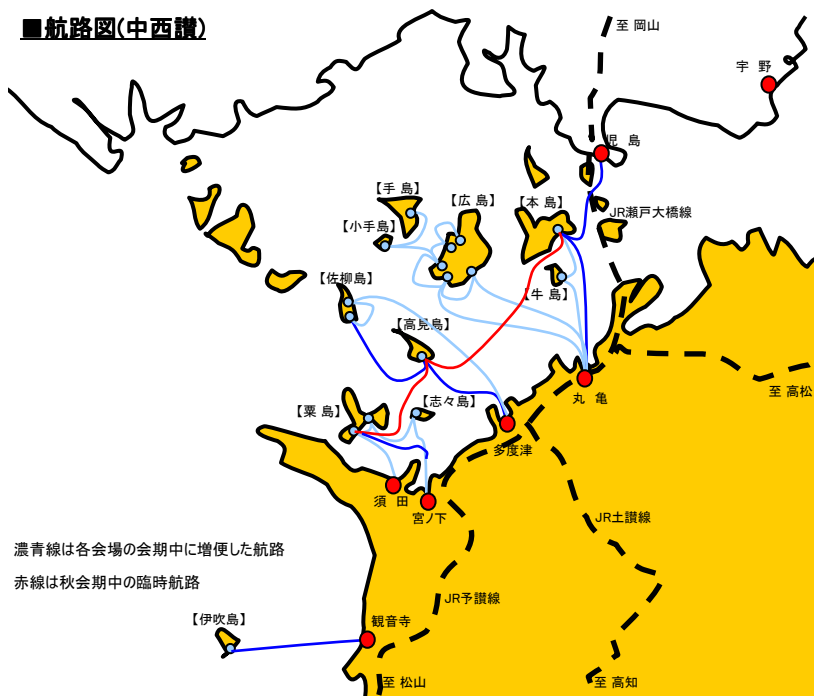
- 芸術祭の開催にあわせ、来場者の交通アクセスの向上を図るため、会場となる島々を結ぶ航路やマザーポートとなる高松港と島々を結ぶ航路、また、中西讃の会場となる島々と本土をつなぐ航路において芸術祭各会期に合わせ、新規定期航路（臨時航路）の開設や、既存定期航路の増便を行った。
- 会期中の来場者が多い日については、関係する航路で付け船や臨時便での対応等を各事業者において実施し、一部航路では旅客定員の拡大による対応も実施した。
- さらに、一部の高速船便や旅客船便では、乗船時の混雑緩和のため、整理券の発行を行うなど、来場者がスムーズに乗船できるよう運用面での対応も図った。

会期中の航路図

■航路図(7島)



■航路図(中西讃)



■新規定期航路(臨時航路)と既存航路の増便

		運航区間	会期中の 便数/日	通常時の 便数/日	運航事業者
春	臨時航路	小豆島(土庄)⇔直島(宮浦)	2	—	(株)マリン観光汽船
		小豆島(土庄)⇔犬島	3	—	(株)マリン観光汽船
		豊島(家浦)→男木島→直島(宮浦)	0.5 ※1	—	四国汽船(株)
		小豆島(坂手)⇔小豆島(池田)⇔小豆島(土庄東)⇔直島(本村)	4 ※1	—	神戸小豆島直島ライン (ジャンボフェリー(株))
	増便	高松⇔直島(宮浦)	3.5 ※2	1.0~3.5	四国汽船(株)
		高松⇔豊島(家浦) *高松⇔直島(本村)⇔豊島(家浦)を含む	4~5 ※3	3~5	(株)豊島フェリー
小豆島(坂手)⇔神戸(三宮)		3.5 ※1	3	小豆島ジャンボフェリー (ジャンボフェリー(株))	
夏	臨時航路	小豆島(土庄)⇔直島(宮浦)	2	—	(株)マリン観光汽船
		小豆島(土庄)⇔犬島	3	—	(株)マリン観光汽船
		豊島(家浦)→男木島→直島(宮浦)	0.5 ※4	—	四国汽船(株)
		小豆島(坂手)⇔小豆島(池田)⇔小豆島(土庄東)⇔直島(本村)	4 ※4	—	神戸小豆島直島ライン (ジャンボフェリー(株))
	増便	高松⇔直島(宮浦)	3.5 ※2	1.0~3.5	四国汽船(株)
		高松⇔豊島(家浦) *高松⇔直島(本村)⇔豊島(家浦)を含む	5	3~5	(株)豊島フェリー
		高松⇔女木島⇔男木島	8~13 ※5	6~12	雌雄島海運(株)
		宇野⇔豊島(家浦)⇔豊島(唐櫃)⇔小豆島(土庄)	10 ※6	9	小豆島フェリー(株)
		高松・高松東⇔小豆島(坂手)	4 ※1	2.5~3.0	小豆島ライン (ジャンボフェリー(株))
		小豆島(坂手)⇔神戸(三宮)	3.5 ※1	3	小豆島ジャンボフェリー (ジャンボフェリー(株))
		観音寺⇔伊吹島	6	4	伊吹丸事務所 (観音寺市役)
		秋	臨時航路	小豆島(土庄)⇔直島(宮浦)	2
小豆島(土庄)⇔犬島	3			—	(株)マリン観光汽船
豊島(家浦)→男木島→直島(宮浦)	0.5			—	四国汽船(株)
小豆島(坂手)⇔小豆島(池田)⇔小豆島(土庄東)⇔直島(本村)	4 ※1			—	神戸小豆島直島ライン (ジャンボフェリー(株))
本島⇔高見島⇔粟島	6			—	(こじ観光(有))
増便	高松⇔直島(宮浦)		3.5 ※2	1.0~3.5	四国汽船(株)
	高松⇔豊島(家浦) *高松⇔直島(本村)⇔豊島(家浦)を含む		5	3~5	(株)豊島フェリー
	高松⇔女木島⇔男木島		8~10 ※7	6	雌雄島海運(株)
	宇野⇔豊島(家浦)⇔豊島(唐櫃)⇔小豆島(土庄)		10 ※8	9	小豆島フェリー(株)
	高松・高松東⇔小豆島(坂手)		4 ※1	2.5~3.0	小豆島ライン (ジャンボフェリー(株))
小豆島(坂手)⇔神戸(三宮)	3.5 ※1	3	小豆島ジャンボフェリー (ジャンボフェリー(株))		
丸亀⇔本島	10	8	本島汽船(株)		
児島⇔本島	6	4	六口丸海運(有)		
多度津⇔高見島	5	4	三洋汽船(株)		
詫間(宮の下)⇔粟島	7 ※1	—	瀬戸内国際芸術祭 三豊市実行委員会		

※1 会期中の土日祝の運航

※2 高速船の便数

※3 金土日祝は5便、それ以外は4便の運航

※4 会期中の土日祝と8/12~16の運航

※5 高松⇔女木島間は12便運航、但し、会期中の金土日と8/12~15は13便の運航。女木島⇔男木島間は8便の運航

※6 会期中の土日祝と8/12~16の便数、また左記期間において宇野⇔豊島(家浦)間でさらに1便増便運航

※7 高松⇔女木島間は10便運航、女木島⇔男木島間は8便の運航

※8 会期中の土日祝は、宇野⇔豊島(家浦)間でさらに1便増便運航

* 便数については、増便後の便数を記載 *1便=1往復を表す。

(2) 島内交通の整備

- 海上交通の整備にあわせ、各島内での来場者の交通手段を確保するため、主要港と作品会場等を結ぶバス路線の増強を図った。
- 会場となる各島の案内所等においては、レンタサイクルやレンタカー情報を提供した。

■新規路線(臨時路線)と既存路線の追加等

1便=1往復を表す

		運行区間	便数/日	運行事業者
春	新規	【豊島】 家浦⇔唐櫃など	20.0	土庄町・小豆島交通
	追加	【小豆島】 土庄港⇔肥土山・中山⇔池田港⇔草壁港など	10.0	小豆島オーリーブバス
		【女木島】 女木港⇔鬼ヶ島大洞窟	5.0	鬼ヶ島観光自動車
夏	新規	【直島】 宮浦港⇔地中美術館→つつじ荘→南寺→宮浦港	13.0	大川バス
		【豊島】 家浦⇔唐櫃など	22.5	土庄町・小豆島交通
	追加	【小豆島】 土庄港⇔肥土山・中山⇔池田港⇔草壁港など	10.0	小豆島オーリーブバス
		【女木島】 女木港⇔鬼ヶ島大洞窟	8.5	鬼ヶ島観光自動車
秋	新規	【直島】 宮浦港⇔地中美術館→つつじ荘→南寺→宮浦港	13.0	大川バス
		【豊島】 家浦⇔唐櫃など	22.5	土庄町・小豆島交通
	追加	【小豆島】 土庄港⇔肥土山・中山⇔池田港⇔草壁港など	10.0	小豆島オーリーブバス
		【女木島】 女木港⇔鬼ヶ島大洞窟	8.5	鬼ヶ島観光自動車

(3) 本土側港付近の交通整備

- 本土側においては、会場の島々の玄関口となる各港とその最寄り駅である JR 線の各駅や高松空港等を結ぶシャトルバスも運行した。

■ 芸術祭会場となる島の玄関口となる各港への新規バス路線

1便=1往復を表す

	運行区間	便数/日	運行事業者
春	【犬島】 JR岡山駅⇔宝伝港	3.0	両備バス
	【沙弥島】 JR坂出駅⇔東山魁夷せとうち美術館前	9.5 ※1	琴参バス
夏	【犬島】 JR岡山駅⇔宝伝港	3.0	両備バス
	【伊吹島】 JR観音寺駅⇔観音寺港	30分毎	西讃観光バス
	【伊吹島】 有明グランド駐車場⇔観音寺港	30分毎	西讃観光バス
	【伊吹島】 高松空港→観音寺港	0.5	西讃観光バス
秋	【犬島】 JR岡山駅⇔宝伝港	3.0	両備バス
	【本島・高見島】 高松空港→丸亀港→多度津港	0.5 ※2	琴参バス
	【高見島】 JR多度津駅⇔多度津港	6.0	多度津町
	【栗島】 JR詫間駅⇔宮の下港⇔浜田駐車場⇔須田港	60分毎	鴨田タクシー
	【栗島】 経面駐車場⇔浜田駐車場⇔須田港⇔宮の下港 ※3	30分毎	浦島観光
	【栗島】 高速三野バスストップ⇔須田港	2.0	四国観光トラベル
	【栗島】 高松空港→須田港	0.5	エコロジャパン

※1 会期中の土曜日は11便運行

※2 会期中の土日祝の運行

※3 宮の下港へは土日祝のみの運行

- 自家用車等での来場に対応するため、高松港をはじめ中西讃の各港付近に臨時駐車場を開設した。

■芸術祭会場への各港付近の芸術祭専用無料駐車場

	会場	場所	駐車場名称	台数	備考
春	高松港周辺	高松港	サンポート高松B2街区	130	作品鑑賞パスポート提示 要
			サンポート高松A1街区	150	作品鑑賞パスポート提示 要
			大的場無料駐車場	150	作品鑑賞パスポート提示 要
	沙弥島	沙弥島	瀬戸大橋記念公園西駐車場	286	
夏	高松港周辺	高松港	サンポート高松B2街区	130	作品鑑賞パスポート提示 要
			サンポート高松A1街区	150	作品鑑賞パスポート提示 要
			大的場無料駐車場	150	作品鑑賞パスポート提示 要
	伊吹島	観音寺港	有明グラウンド無料駐車場	200	
秋	高松港周辺	高松港	サンポート高松B2街区	130	作品鑑賞パスポート提示 要
			サンポート高松A1街区	150	作品鑑賞パスポート提示 要
			大的場無料駐車場	150	作品鑑賞パスポート提示 要
	本島	丸亀港	栈橋周辺駐車場	30	
			蓬菜町駐車場	200	
	高見島	多度津港	旧フェリー乗場駐車場	120	
			港岸壁駐車場	50～100	
			多度津町スポーツセンター駐車場	50～100	
			多度津町職員駐車場	50～100	土日祝のみ
	栗島	須田港	浜田臨時駐車場	100	
宮の下港		経面臨時駐車場	300		

(4) 芸術祭 6 島周遊乗船 2 日券

- 来場者の海上アクセスを向上させ、会場となる島々をより多く巡ってもらうための仕組みとして、関係旅客船事業者 9 社^{*1}の協力による「芸術祭 6 島周遊乗船 2 日券」を発行した。
- 芸術祭の玄関となる高松港と宇野港から会場となる 6 つの島（大島を除く）を結ぶ航路及び各島同士を結ぶ全ての航路・船便(14 航路 20 区間、1 日約 130 便^{*2})が対象である。
- 複数の旅客船事業者が参加したフリー乗船券は、ほかに類を見ない試みである。
- 期間中、12,665 枚の利用があった。

*1 春会期は 10 社（航路廃止があり、夏会期と秋会期は 9 社となった。）

*2 *1 のとおり、春会期は 15 航路 21 区間であった。

12 ツーリストへの対応

(1) 旅行商品・ツアーの造成

- 旅行代理店に対して、芸術祭に足を運んでもらえるよう旅行商品及びツアーの造成を促進した。

■造成した旅行商品及びツアー

旅行会社名	旅行商品名	内容	発着地
JTB東日本 国内商品事業部	四国(個人型フリープラン) 10～3月【12年下期】	首都圏発の個人型プラン (瀬戸芸情報2ページ・リムジンバス+高速船セットプラン掲載)	首都圏
	四国(個人型フリープラン) 4～9月【13年上期】	首都圏発の個人型プラン (瀬戸芸情報・パスポートOP販売掲載)	首都圏
	四国(個人型フリープラン) 10～3月【13年下期】	首都圏発の個人型プラン (瀬戸芸情報・パスポート・6島周遊乗船2日券OP販売掲載)	首都圏
	瀬戸内国際芸術祭 春 3/20～4/21(春会期用)	首都圏発 全ページ瀬戸芸に特化したオリジナル商品	首都圏
	瀬戸内国際芸術祭 夏秋 7/20～11/4(夏・秋会期用)	首都圏発 全ページ瀬戸芸に特化したオリジナル商品	首都圏
JTB西日本 国内商品事業部	四国・小豆島(個人型フリープラン) 10～3月【12年下期】	西日本発の個人型プラン (瀬戸芸情報【表紙掲載】)	関西
	あつたか四国(個人型フリープラン) 12～4月(春会期用)	西日本発の個人型プラン (瀬戸芸情報掲載)	関西
	四国・小豆島(個人型フリープラン) 4～9月【13年上期】	西日本発の個人型プラン (瀬戸芸情報【表紙掲載】・パスポートOP販売掲載)	関西
	四国・小豆島(個人型フリープラン) 10～3月【13年下期】	西日本発の個人型プラン (瀬戸芸情報【小豆島情報】掲載)	関西
	小豆島(個人型フリープラン) 3～6月	小豆島に特化した個人型プラン (全10ページ瀬戸芸情報掲載)	関西
	瀬戸内国際芸術祭2013in四国・玉野 3/20～4/21(春会期用)	西日本発 全ページ瀬戸芸に特化したオリジナル商品	関西
	瀬戸内国際芸術祭2013in四国・玉野 7/1～12/1(夏・秋会期用)	西日本発 全ページ瀬戸芸に特化したオリジナル商品	関西
	ファミリー旅行小豆島へゴー!! 7/1～10/31(夏・秋会期用)	個人型プラン (1/2ページ瀬戸芸情報掲載)	関西
	岡山・広島・山口 (個人型フリープラン)	個人型プラン (1/2ページ瀬戸芸情報掲載、岡山駅発のモデルコース)	関西中四国
	旅のチカラ四国 (2013年4月～2014年3月)	団体旅行Aユニット(瀬戸芸情報掲載)	関西
お勧めの宿 4/1～11/30	団体旅行Aユニット(瀬戸芸情報掲載)	関西	
JTB北海道 国内商品事業部	瀬戸内×アート 7月～11月	北海道発 全ページ瀬戸芸に特化したオリジナル商品	北海道
JTB中国四国 商品企画販売部	みんなの夏たび 山陽・山陰・四国・九州 7～9月	中国四国発着の個人型プラン	中国四国
JTB中部 国内商品事業部	四国(個人型フリープラン) 4～9月【13年上期】	中部発の個人型プラン (瀬戸芸情報4ページ・パスポート/乗船2日券OP販売掲載)	中部
JTB九州 国内商品事業部	山陽・山陰・四国(個人型フリープラン) 4～9月【13年上期】	九州発の個人型プラン(パスポートOP販売掲載)	九州
	はじめてのお遍路さん1～7月	九州発のJRプラン(瀬戸芸情報掲載)	九州
JTB旅物語 【JTB西日本】	旅物語6月号やどやドットコム	宿泊予約サービスパンフレット。瀬戸芸情報を掲載	全国
JTBメディアリテリング	たびものがたり2月号 【3/20～4/18出発】	羽田発の添乗員同行ツアー (瀬戸芸と西の桜スペシャル3日間)	首都圏
JTBサン&サン西日本	わたし旅 4～9月	関西発着の個人型プラン (瀬戸芸情報掲載)	関西圏
	お手軽夏旅 2013年6月～9月	関西発着の個人型プラン (小豆島情報内で瀬戸芸情報掲載及びパスポート情報掲載)	関西圏
JTBガイアレックサン &サン事業部	瀬戸内海の島々 ～広島・岡山・香川・愛媛 4月～9月	首都圏発の個人型プラン	首都圏
ANAセールス	秋シーズンに行く 瀬戸内国際芸術祭2013を見に行こう! (秋会期用)	WEB専用。首都圏発の個人型プラン (瀬戸芸情報・パスポートOP販売掲載)	首都圏
ANAスカイホリデー	誘誘四国 癒しの四国へ 【12/1～3/31出発】	全国発の四国周遊プラン(瀬戸芸情報掲載)	首都圏
JALバック	パワーアップ麗らか四国 【4/1～10/28出発】	首都圏発の四国周遊プラン(瀬戸芸情報掲載)	首都圏
	10月からの旅 関西・南紀・山陰・山陽・四国	首都圏発のフリープラン(瀬戸芸情報掲載)	首都圏
	Web限定 JALで行く! 「瀬戸内国際芸術祭2013」会期中	首都圏発 瀬戸芸専用旅行商品	首都圏

旅行会社名	旅行商品名	内容	発着地
日本旅行赤い風船 西日本事業部	スーパーチャンス四国 4～9月	西日本発の個人・グループ型プラン (瀬戸芸パスポートOP販売掲載)	関西
	四国(個人・グループ型フリープラン) 10～5月	西日本発の個人・グループ型プラン (瀬戸芸情報掲載)	関西
	山陽・四国(個人・グループ型プラン) 10～5月	中国地区発着の個人・グループ型プラン (瀬戸芸情報掲載)	関西
	山陽・四国(個人・グループ型プラン) 4～10月	中国地区発着の個人・グループ型プラン (瀬戸芸パスポートOP販売掲載)	関西
	小豆島温泉オリーブの楽園 6～11月	西日本発の個人・グループ型プラン (瀬戸芸情報掲載)	関西
	宿コレクション 春・夏 四国 4～10月	西日本発の個人・グループ型プラン (瀬戸芸情報掲載)	関西
	新幹線利用 四国自遊旅行 4～9月	大阪発着の個人・グループ型プラン (瀬戸芸パスポートOP販売掲載)	関西
	瀬戸内海アート旅 3～11月	大阪発着の個人・グループ型プラン	関西
	きらり四国(徳島・愛媛・高知・香川) 4～9月	全国発の個人・グループ型プラン (瀬戸芸商品掲載/パスポート・乗船券付)	全国
	JRで行く素敵な女子に贈る旅 女子旅コレクション 4～9月	大阪発着のJR利用の個人・グループ型プラン	関西
JRで行く四国 こんびら温泉郷 5～9月	大阪発着の個人・グループ型プラン (瀬戸芸パスポートOP販売掲載)	関西	
日本旅行赤い風船 東日本事業部	中四国/山陽・山陰・四国へ行こう	東日本発の個人・グループ型プラン (瀬戸芸情報掲載)	中国・四国
近畿日本ツーリスト 個人旅行部	四国(パーソナリッパ春・夏) 4/1～9/30出発	関西発の個人型プラン(瀬戸芸情報掲載)	関西
	四国(パーソナリッパ春・夏) 4/1～9/30出発	中国・四国発の個人型プラン(瀬戸芸情報掲載)	中国・四国
	四国(パーソナリッパ春・夏) 4/1～9/30出発	首都圏発の個人型プラン(瀬戸芸情報掲載)	首都圏
	JR新幹線のぞみ号利用! 瀬戸内国際芸術祭2013へ行こう 作品鑑賞パスポートセットプラン	WEB専用。首都圏発の個人型プラン (瀬戸芸情報掲載/パスポート・乗船券付)	首都圏
	きらり四国(徳島・愛媛・高知・香川) 4～9月	全国発の個人・グループ型プラン (瀬戸芸商品掲載/パスポート・乗船券付)	全国
	瀬戸内国際芸術祭2013へ行こう (春・夏会期用) お得なウエスト	首都圏発 全ページ瀬戸芸に特化したオリジナル商品 (JR・航空機利用)	首都圏
	広島・岡山・高松 4～9月	首都圏発の個人型プラン(瀬戸芸情報掲載)	首都圏
	ファミリースペシャル 山陰・山陽・四国 7～9月	中国・四国発の個人型プラン(瀬戸芸情報掲載)	中国・四国
	得だねトレイン四国 4～9月	関西発の個人型プラン(瀬戸芸情報掲載)	関西
	四国～徳島県・うどん県・愛媛県・高知県～ 4～9月	西日本発の個人・グループ型プラン	関西
	山陽・山陰・四国 ～宮島・萩・出雲・道後温泉～	首都圏発の個人型プラン	首都圏
	JALで行く瀬戸内国際芸術祭2013 高松・小豆島 7～9月	首都圏発の個人型プラン	首都圏
ザ! 四国 4～9月	九州発の個人型プラン(瀬戸芸情報掲載)	九州	
JR西日本&日本旅行 西日本営業本部	山陽出発旅のアトリエ	山陽発の添乗員付ツアー(本島・高見島ツアー)	中国 (山陽)
クラブツーリズム 株式会社	日本全国夏の旅 13年6月～14年1月	首都圏発の個人型募集ツアー	首都圏
	旅の友 バスの旅 中部・東海版 8～9月	名古屋発の団体旅行ツアー	中部 (名古屋)
ジェイアール東海 ツアーズ	あなたの町からご出発! クラブツーリズムの旅 7～8月	関西発の団体旅行ツアー(作品鑑賞パスポート付)	関西
	のぞみ号で行く瀬戸内紀行 岡山・小豆島・高松 フリープラン	首都圏発 JR利用 全ページ瀬戸芸に特化したオリジナル商品	首都圏
	山陽・山陰・四国・下関・門司 50+ (2013年春号・初夏号・ 成夏号・初秋号・盛秋号)	個人型プラン(瀬戸芸情報掲載) 首都圏発 JR利用 会員専用旅行情報誌 瀬戸芸関連の団体ツアー	首都圏・ 名古屋圏
JR西日本 ジバンク倶楽部	旅のアトリエ おすすめ宿泊特選旅行 7～8月	大阪発会員用募集ツアー	関西
九州旅客鉄道 株式会社	旅三昧～2013 January	九州発 JR利用 会員専用旅行情報誌(2013年1月号)	九州
四国旅客鉄道 株式会社	瀬戸内国際芸術祭2013へ行こう! 7～8月	高松発個人向け募集ツアー	四国
	瀬戸内国際芸術祭2013 瀬戸内島めぐりの旅 7～9月	高松発個人向け募集ツアー	四国
ビックホリデー	冬春どかん! 四国・山陰・山陽・関西 1～5月	個人型周遊&フリープラン(瀬戸芸情報掲載)	首都圏
	BIGvalue春夏 四国・山陰・山陽・関西 4～9月	個人型周遊&フリープラン(瀬戸芸情報掲載)	首都圏
	BIGvalue夏秋 四国・山陰・山陽・関西 6～11月	個人型周遊&フリープラン(瀬戸芸情報掲載)	首都圏
トップツアー 関西国内旅行センター	夏のとびら	家族向け旅行プラン(瀬戸芸情報掲載小豆島向けプラン)	関西
トヨタトラベルサービス	夏秋瀬戸内国際芸術祭クルーズ	詫間発芸術祭巡りツアー	香川
J-TRIP	東京発瀬戸内国際芸術祭2013 「アートと島を巡る瀬戸内海の四季」	WEB限定。宿泊付個人向け募集ツアー	首都圏

旅行会社名	旅行商品名	内容	発着地
愛媛新聞旅行	夏の旅6月号	愛媛発団体旅行ツアー	愛媛
伊予鉄トラベル	夏休みスペシャルプラン夏トク 7～8月	愛媛発団体旅行ツアー(小豆島)	愛媛
フジトラベルサービス	オリーブアイランド夏だ★小豆島 7～9月	愛媛発個人(家族)向けツアー(瀬戸芸情報掲載)	愛媛
	あなたの街からフジの旅 8月	愛媛発団体旅行ツアー(男木島)	愛媛
京都新聞 企画事業株式会社	日帰りで行く直島募集ツアー 4月	京都発個人向け募集ツアー	関西
防長トラベル株式会社	瀬戸内・小豆島・犬島・豊島めぐり	山口発個人向け募集ツアー	中国

(2) インフォメーションセンター・案内所の運営

- 高松港、宇野港、直島宮浦港において、インフォメーションセンターを運営し、チケット等の販売をはじめ、来場者に対して芸術祭の総合案内を行った。
- 高松港の総合インフォメーションセンターにおいては、外国語の電話問い合わせに対応できるスタッフを配置するなど、外国人観光客対策を強化した。
- 会場となる島々の港等には合計 32 か所の案内所を設置（インフォメーションセンター含む）し、島内のアート作品やイベント、交通等の案内を行った。

(3) 緊急情報等の提供

- 芸術祭の運営に関する緊急情報をはじめ、作品・施設や交通機関の混雑情報や休館情報を、インフォメーションセンターや案内所等 38 か所に設置した大型ディスプレイ（アートナビ）に掲出するとともに、公式ウェブサイトや公式アプリケーションにおいてリアルタイムの情報提供に努めた。

(4) 無料Wi-Fiスポットの設置

- 会場となる島々の案内所や高松港、宇野港のほか、本土側の港や JR 駅等の案内所等 35 か所に無料 Wi-Fi スポットを設置し、芸術祭来場者がインターネットに接続できる環境を整えた。

(5) 主な情報提供ツール

① 公式アプリケーション

- アート作品情報、現在位置情報を地図上に表示するとともに、航路時刻表、作品検索、緊急・混雑・休館情報のリアルタイム表示等の機能を搭載したアプリケーションを開発した。会期毎に鑑賞できる作品の情報に更新し、App ストア、Google Play ストアにてリリースを行い、約 1 万 5 千人のユーザーに利用いただいた。



春会期デザイン



夏会期デザイン



秋会期デザイン

■会期ごとの新規ダウンロード数

会期	新規ダウンロード数
春会期	4,842
夏会期	6,472
秋会期	3,879
計	15,193

② ガイドマップ

- 各島の作品周辺の地図を掲載したガイドマップを作成し、現地のサイン看板と併せて活用することで、作品へのアクセス向上につながった。

③ 交通アクセスマップ

- 芸術祭会場への全航路、会場となる島の島内交通等を集約し、複雑な交通体系を要約した「瀬戸内国際芸術祭 2013 交通アクセスマップ」及び「中西讃交通アクセスマップ」を無料で配布したことで、島へのアクセス向上につながった。
- いずれのマップにもモデルコースを掲載し、島々を効率的に周遊する方法の提案を行った。
- 「中西讃交通アクセスマップ」には、スマートフォン等で読み込むことで駐車場の位置情報が確認できるQRコードを掲載し、本土側拠点港へのアクセス向上を図ったほか、カーナビゲーションに入力することで簡単に目的地を設定することができるマップコードを掲載し、県内主要観光地への誘客を図った。

(6) 手荷物預かりサービス

- 新たな試みとして、高松空港及び高松港総合インフォメーションセンターで、芸術祭来場者の手荷物を県内宿泊施設まで届けるバゲッジデリバリーサービスを実施したほか、高松港周辺等にはコインロッカーを増設するなど、来場者の手荷物預かりに関するサービスを提供した。

13 各会場の運営状況

会場となる島々や高松港、宇野港のほか、本土側の港等で、来場者に対して作品やイベントの案内、海上交通の混雑情報など、芸術祭に関する各種情報を提供するインフォメーションセンターや案内所を設置・運営するとともに、会場となる各島等の作品管理を行った。

- 会期中、各会場では、緊急雇用創出基金事業による雇用者、県及び市町の動員職員は主として案内所に、ボランティアサポーターこえび隊及び企業・県職員OB等のボランティアは主としてアート作品の管理業務にあたった。

(ポスト数/日)

会場/関係市町	区分	内訳							計
		緊急雇用		職員		ボランティア		警備	
		県	市町	県	市町	こえび隊	企業・OB等		
本部	平日	10	0	12	0	0	0	0	22
	土日祝	10	0	12	0	0	0	0	22
直島/直島町	平日	9	3	1	1	1	0	5	20
	土日祝	9	3	1	1	2	0	5	21
豊島/土庄町	平日	2	4	0	0	8	0	2	16
	土日祝	2	4	0	0	14	3	5	28
女木島/高松市	平日	0	1	0	2	6	3	2	14
	土日祝	0	1	0	2	8	5	2	18
男木島/高松市	平日	0	1	0	2	7	5	2	17
	土日祝	0	2	0	1	9	7	2	21
小豆島/土庄町	平日	3	10	1	0	2	0	2	18
	土日祝	2	10	1	0	4	2	3	22
小豆島/小豆島町	平日	7	4	0	10	1	0	5	27
	土日祝	7	4	0	13	2	4	7	37
大島/高松市	平日	0	1	0	1	3	0	1	6
	土日祝	0	1	0	1	6	0	1	9
犬島/岡山市	平日	2	2	0	0	0	0	1	5
	土日祝	2	2	0	0	0	0	2	6
高松港/高松市	平日	18	0	4	2	0	0	8	32
	土日祝	18	0	4	2	0	0	16	40
宇野港/玉野市	平日	6	8	0	2	2	2	2	22
	土日祝	8	7	0	2	5	2	3	27
船内案内	平日	4	0	0	0	0	0	0	4
	土日祝	4	0	0	0	0	0	0	4
沙弥島/坂出市 (春)	平日	1	8	1	2	1	0	4	17
	土日祝	1	12	1	2	3	5	5	29
本島/丸亀市 (秋)	平日	7	5	1	15	0	1	8	37
	土日祝	7	5	1	16	2	6	14	51
高見島/多度津町(秋)	平日	3	3	1	13	0	4	5	29
	土日祝	3	3	1	16	2	17	8	50
粟島/三豊市 (秋)	平日	3	4	1	15	0	10	7	40
	土日祝	3	4	1	6	2	37	10	63
伊吹島/観音寺市(夏)	平日	5	6	1	9	1	8	4	34
	土日祝	5	7	1	12	2	12	5	44
春会期 計	平日	62	42	19	22	31	10	34	220
	土日祝	63	46	19	24	53	28	51	284
夏会期 計	平日	66	40	19	29	31	18	34	237
	土日祝	67	41	19	34	52	35	51	299
秋会期 計	平日	74	46	21	63	30	25	50	309
	土日祝	75	46	21	60	56	83	78	419

注)

1 案内所、作品管理、その他(駐車場等)に配置された1日での平均的なポスト数である。

2 平日と土日祝でポスト数が変わる場合は、2段書で表す。

14 実行委員会の収支状況

(1) 芸術祭閉幕時における収支状況（見込み）

1 収入

単位:百万円

区 分	23年度	24年度		25年度		3ヵ年	
	決算 A	決算 B	当初予算 C	閉幕時 D	当初予算 E	閉幕時 A+B+D	当初予算計 A+C+E
負 担 金	18	300	300	300	300	618	618
香川県	10	95	95	95	95	200	200
関係市町	8	110	110	110	110	228	228
福武財団	0	95	95	95	95	190	190
補助金・助成金	10	23	40	61	0	94	50
寄附金・協賛金	30	90	110	37	0	157	140
グッズ等販売	0	15	0	32	3	47	3
チケット販売収入	0	63	60	175	140	238	200
その他	15	5	0	1	0	21	15
小計	73	496	510	606	443	①1,175	1,026
前年度繰越金	0	54	54	162	0	—	—
計	73	550	564	768	443	—	—

2 支出

単位:百万円

区 分	23年度	24年度		25年度		3ヵ年	
	決算 A	決算 B	当初予算 C	閉幕時 D	当初予算 E	閉幕時 A+B+D	当初予算計 A+C+E
アートプロジェクト費	17	254	367	304	149	575	533
作品制作費	0	170	297	190	33	360	330
作品制作管理費	2	49	33	50	55	101	90
総合ディレクター費	0	15	15	15	15	30	30
事業計画策定費	15	0	0	0	0	15	15
イベント開催費	0	20	22	49	46	69	68
運営活動費	2	93	171	267	278	362	451
広報活動費	1	57	55	38	35	96	91
交通対策費	0	1	16	24	39	25	55
会場運営費	0	4	54	103	114	107	168
サポーター運営費	0	9	21	71	57	80	78
事務局運営費	1	22	25	31	33	54	59
チケット等制作費	0	41	26	37	16	78	42
小計	19	388	564	608	443	②1,015	1,026
次年度繰越金	54	162	0	③ 160	0	—	—
計	73	550	564	768	443	—	—

※平成24年度当初予算C及び25年度の当初予算Eは、事業別詳細計画策定時(第12回総会時(H24.10.16)のもの

収支差額 ①-②=③

160

(2) 実行委員会の県内業者発注状況

- 実行委員会が発注した印刷や物品購入をはじめとする各種契約は、件数で約 8 割、金額で約 9 割が、県内業者に対するものとなっている。

平成23～25年度の合計

(金額:千円)

項目	県内業者		県外業者		県内の割合	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
印刷	7	23,496	2	1,298	77.8%	94.8%
物品購入	35	25,286	5	719	87.5%	97.2%
作品制作費	8	8,538	5	241	61.5%	97.3%
制作管理費	11	4,260	1	355	91.7%	92.3%
イベント開催費	29	66,954	5	201	85.3%	99.7%
広報費	26	33,211	17	8,218	60.5%	80.2%
交通対策費	1	499	0	0	100.0%	100.0%
会場運営費	24	123,829	4	2,082	85.7%	98.3%
サポーター運営費	9	32,003	0	0	100.0%	100.0%
事務局運営費	49	14,756	11	1,328	81.7%	91.7%
チケット等制作費	3	7,774	0	0	100.0%	100.0%
合計	202	340,606	50	14,442	80.2%	95.9%

15 寄付協賛金

- 芸術祭 2013 に対しては、179 社の企業から 155,710 千円の現金寄付協賛が、132 人の個人から 1,280 千円の現金寄付協賛があった。
- このほか、現物協賛として 11 社から現金換算で 19,732 千円相当の協賛があった。

項目		平成23年度	平成24年度	平成25年度	計
現金による寄付協賛	企業	1社	158社	20社	179社
		30,000千円	88,560千円	37,150千円	155,710千円
	個人	1人	117人	14人	132人
		300千円	900千円	80千円	1,280千円
小計		2社	275社	34社	311社
		30,300千円	89,460千円	37,230千円	156,990千円
現物による寄付協賛		0社	8社	3社	11社
		0千円	11,818千円	7,914千円	19,732千円
計		2社	283社	37社	322社
		30,300千円	101,278千円	45,144千円	176,722千円

16 芸術祭関連予算

(1) 芸術祭関連の県費執行事業

- 芸術祭の開催にあわせ県全体での盛り上げを図るため、芸術祭との相乗効果が期待できる関連事業の充実を図った。
- 事業費総額は、5課10事業で145,994千円である。この内、丹下健三生誕100周年プロジェクト事業は国費を活用しており、国費の額は15,000千円である。

(単位:千円)

所管	事業内容	執行(見込)額	備考
文化振興課	丹下健三生誕100周年プロジェクト事業	40,949	内国費15,000
	芸術家村事業	9,300	
	ARTアカデミー事業	7,500	
県産品振興課	高松港アートマルシェ	23,400	
観光振興課	香川せとうちアート観光圏滞在促進事業	30,000	
	ビジット香川誘客重点促進事業	17,500	
	無料Wi-Fiスポット設置	5,595	
	老舗観光地への誘客促進事業	6,500	
にぎわい推進課	瀬戸内海芸術祭推進事業	3,000	
都市計画課	サンポート高松交通結節点整備事業	2,250	
計		145,994	内国費15,000 内県費130,994

(2) 緊急雇用創出基金事業

- 芸術祭関連の新たな雇用創出としては、厚生労働省の緊急雇用創出基金事業を活用し、芸術祭関係で県では5事業を実施し、265名を雇用した。市町では12事業を実施し、147名を雇用し、合計412人を新たに雇用した。
- このほか、実行委員会1人、高松市4人、丸亀市2人、観音寺市1人、小豆島町26人、ベネッセ・福武財団等関係団体で37人を雇用した。

■ 県関係

所管	事業名	年度	雇用延べ人数 (人)	執行(見込)額 (千円)
瀬戸内国際 芸術祭推進室	瀬戸内国際芸術祭2013広報及びイベント運営業務	25	5	12,725
	瀬戸内国際芸術祭2013総合案内等業務	24	93	40,100
		25	133	133,920
	瀬戸内国際芸術祭2013ボランティアサポーター管理補助業務	24	2	591
		25	11	40,528
	瀬戸内国際芸術祭2013マザーポート高松活性化事業	25	3	14,279
国際課	バングラデシュ・プロジェクト業務	25	18	23,045
県分計			265	265,188

■ 市町関係

所管	事業名	年度	雇用延べ人数 (人)	執行(見込)額 (千円)
高松市	瀬戸内国際芸術祭関連業務	24	6	1,118
		25	6	14,426
丸亀市	瀬戸内国際芸術祭2013案内所運営業務及び事業運営	24	5	885
		25	5	8,928
坂出市	瀬戸内国際芸術祭2013案内及び運営業務	24	14	2,969
		25	14	3,486
観音寺市	瀬戸内国際芸術祭2013案内運営業務	25	8	13,435
三豊市	三豊市瀬戸内国際芸術祭運営等業務	24	4	506
		25	4	9,053
土庄町	瀬戸内国際芸術祭案内等関係業務	24	8	2,947
	瀬戸内国際芸術祭作品鑑賞整理等関係業務	25	21	21,079
小豆島町	瀬戸内国際芸術祭2013案内所業務	24	7	1,206
		25	7	11,802
直島町	瀬戸内国際芸術祭2013運営及び案内業務	24	3	1,219
		25	5	11,170
多度津町	瀬戸内国際芸術祭2013案内業務	25	3	7,060
玉野市	観光おもてなし推進事業	24	10	8,369
		25	11	34,342
	瀬戸内国際芸術祭イベント等推進事業	25	6	12,600
市町分計			147	166,600
合計			412	431,788

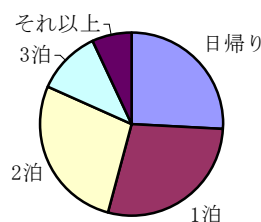
17 来場者の滞在状況等

(1) 滞在状況

- 来場者アンケートによると、地元（香川・岡山）以外からの来場者の平均滞在日数は2.48日であり、宿泊者の平均宿泊数は2.00泊であった。
- 香川・岡山以外からの来場者の宿泊地は、高松が全体の41.4%を占め、以下、小豆島、直島となっている。

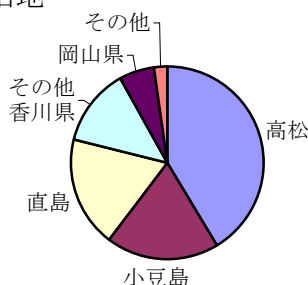
地元（香川・岡山）以外の滞在状況

日数	割合
日帰り	25.8%
1泊	28.3%
2泊	27.6%
3泊	11.4%
それ以上	6.9%
回答数	8,901人



■地元（香川・岡山）以外の宿泊地

宿泊先	割合
高松	41.4%
小豆島	18.8%
直島	18.6%
その他香川県	13.0%
岡山県	6.0%
その他	2.2%
回答数	8,356件



(2) 観光地への訪問

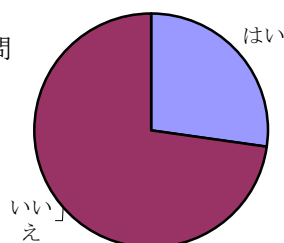
- 芸術祭の来場者に県内の観光地を訪れてもらえるよう、観光施設や温泉・宿泊施設等で料金割引やプレゼントなどの特典が受けられる割引協力施設90施設を設定し、ガイドブックに掲載した。また、割引などの特典を受けながら、県内観光施設の周遊スタンプラリーが楽しめる「うどん県パスポート」を、3シーズンパスポート購入者に対し、無料で配布した。



- 老舗観光地の一つである栗林公園では、芸術祭関連企画として、芸術祭参加作家の大巻伸嗣の作品を展示し、芸術祭来場者が栗林公園に来園してもらえる企画を実施した。
- そのほか、インフォメーションや案内所でチラシ等を掲示するなど、芸術祭来場者が芸術祭関連の情報収集に訪れる場所において、県内観光地の情報発信を行った。
- 結果として、来場者アンケートによると27.3%の来場者が芸術祭以外の観光地を訪問しており、小豆島の観光地をはじめ、金刀比羅宮、栗林公園などの老舗観光地への誘導につながった。

芸術祭以外の観光地への訪問

回答	割合
はい	27.3%
いいえ	72.7%
回答数	9,787人



■記載のあった主な観光地

観光地	所在	件数	割合
小豆島オリーブ園・オリーブ公園	小豆島	130	10.3%
金刀比羅宮	琴平町	117	9.2%
二十四の瞳映画村・岬の分教場	小豆島	93	7.3%
栗林公園	高松市	89	7.0%
エンジェルロード	小豆島	82	6.5%
寒霞溪	小豆島	47	3.7%
丸亀市猪熊弦一郎美術館	丸亀市	44	3.4%
醬の郷 (マルキン醤油・ヤマロク醤油など)	小豆島	40	3.2%
高松城跡・玉藻公園	高松市	39	3.0%
イサム・ノグチ庭園美術館	高松市	34	2.7%
道後温泉	松山市	30	2.4%
屋島・四国村	高松市	28	2.2%
鬼ヶ島大洞窟	女木島	27	2.1%
出雲大社	出雲市	24	1.9%
銭型砂絵 (琴弾公園内)	観音寺市	22	1.7%
塩飽勤番所・笠島まち並保存地区	本島	20	1.6%
後楽園・岡山城	岡山市	18	1.4%
宮島・厳島神社	廿日市市	17	1.3%
瀬戸大橋記念公園・東山魁夷せとうち美術館	坂出市	16	1.3%
高松市美術館	高松市	15	1.2%
中山千枚田	小豆島	15	1.2%
倉敷美観地区・大原美術館	倉敷市	15	1.2%
丸亀城	丸亀市	14	1.1%
阿波おどり	徳島市	13	1.0%
北浜alley	高松市	10	0.8%
ベネッセハウス・ミュージアム	直島	9	0.7%
四万十川	四万十市	9	0.7%
ジョージナカシマ記念館	高松市	7	0.6%
丸亀美術館	丸亀市	7	0.6%
大塚国際美術館	鳴門市	7	0.6%
つつじ荘	直島	6	0.5%
三菱マテリアル	直島	6	0.5%
小豆島ふるさと村	小豆島	6	0.5%
かずら橋	三好市	6	0.5%
その他		205	16.1%
回答数		1,267	100.0%

18 瀬戸内の名産品リデザインプロジェクト

- 芸術祭の開催をきっかけとし、全国のクリエイターと地域との協働により、地場産品や特産品のパッケージをリニューアルした。

■デザイン公募状況

募集期間	2012年11月7日(水)～2013年1月10日(木)
対 象	クリエイターポータル loftwork.com 登録クリエイター(約16,000人)
審 査 員	グラフィックデザイナー 佐藤卓 株式会社スマイルズ代表取締役 遠山正道 株式会社ロフトワーク代表取締役 林千晶 瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター 北川フラム
応募点数	511点
応募者数	207名
採用点数	8品目24点

- 8品目24種類の商品に新しいパッケージデザインを施し、2010年に開発した13品目26種類とともに、会期中、高松港・直島宮浦港・宇野港の各インフォメーション内に併設した芸術祭公式ショップなどで販売した。



にぎわいをみせる高松港の芸術祭公式ショップ

19 広域連携の状況

- 瀬戸内沿岸で開催されるアートイベントや地域活性化行事等と広報を中心とした相互連携を行うために、申請のあった事業のうち以下の15事業を「瀬戸内国際芸術祭 2013 広域連携事業」とし、広報活動の相互連携を行った。

開催地域	広域連携事業名
兵庫県 神戸市	港で出会う芸術祭 神戸ビエンナーレ 2013
兵庫県 淡路島	淡路島アートフェスティバル 2013
岡山県 岡山市	おかやま国際音楽祭 2013
岡山県 岡山市	第 51 回岡山市芸術祭
岡山県 岡山市	中原浩大展「自己模倣」
岡山県 備前市	第 31 回備前焼まつり
岡山県 瀬戸内市	「たゆたう庭」塩のインスタレーション
岡山県 瀬戸内市	瀬戸内牛窓国際交流フェスタ 2013
岡山県 美作地域	美作国建国 1300 年記念事業
岡山県 広域	廻遊ー海から山からー
山口県 山口市	アートと環境の未来・山口 YCAM10 周年記念祭
愛媛県 今治市	伊藤豊雄×山崎亮ワークショップ／対談
愛媛県 宇和島市	AT ART UWAJIMA
徳島県 徳島市	徳島 LED アートフェスティバル 2013
徳島県 鳴門市	大塚国際美術館開館 15 周年記念 15 年のありがとう！

- 広報による連携方法の事例

【瀬戸内国際芸術祭 2013 側での広域連携事業の紹介】

- ・ 公式ガイドブック（春版、夏・秋版）での事業紹介
- ・ 公式 WEB での事業紹介
- ・ 高松港総合インフォメーションセンター等でのチラシ等の配布

【広域連携事業側での瀬戸内国際芸術祭 2013 の紹介】

- ・ 瀬戸内国際芸術祭チラシの配布やポスターの掲示
- ・ WEB での瀬戸内国際芸術祭ホームページバナーの掲載
- ・ 各広域連携事業が制作するチラシやガイドブックでの紹介

20 芸術祭に対する評価

(1) 島民の評価（意見交換会から）

- 芸術祭会期終盤から、島の自治会役員や関係者等との意見交換会を開催した。
- いずれの島においても、芸術祭開催に好意的な意見が多数であったが、運営の問題や開催時期、地域の活性化などについて意見があった。

■開催日程

10月28日（月）	伊吹島
10月29日（火）	沙弥島
11月6日（水）	栗島
11月8日（金）	男木島、大島、高見島、宇野港（玉野市）
11月9日（土）	本島
11月10日（日）	女木島、小豆島（土庄町）
11月15日（金）	直島
11月25日（月）	犬島

<主な意見>

直島

- ・ 大きな事故や問題がなく終わったことが良かった。
- ・ 会期が分散化したことで、会期と会期の間の期間で課題箇所を修正できたことは良かったが、会期分散は、体力的にも運営するにも大変だったのではないかな。
- ・ 会期はまとめた方が良いと思う。分散すると会期と会期の間も島民が落ち着かない。
- ・ 直島のことだけを考えると、会期を分散するのであれば観光客の平準化を図りたいので、7・8月の繁忙期は除いても良いのではないかな。
- ・ マナーの悪い人が見受けられる（ごみのポイ捨て、自転車の放置など）。
- ・ 案内所のスタッフの貢献度はすごい。案内はとても素晴らしかった。
- ・ 船会社も協力的で、繁忙対応もスムーズだった。
- ・ 農協前（本村地区）での安全管理が次回の芸術祭への課題。バスや自動車の往来がある場所に来場者が多く、危険であった。自転車の放置もあり、バスの運行への支障や島民からの苦情も出ていた。

豊島

- ・ 会期が少し短い。春はもう少し（10日ほど）長くしても良いのではないかな。
- ・ バスの運行路線は、豊島を一周して欲しい。甲生から唐櫃岡方面の景観は非常に素晴らしいものがあるので、アートだけでなく豊島の自然をゆっくりと堪能

能して欲しい。

- ・ 自転車がたくさん島内を走っているの、少し危なかった。
- ・ 自宅前の作品の展示場所の敷地の片隅にごみを勝手に捨てられた。ひとつ捨てられると、次々にほかの人がそれに続いてしまうので参った。
- ・ たくさんの飲食店ができ、前回の芸術祭のときのような食事の問題はなかったと思う。
- ・ 今後に向けて、島内を巡るガイドツアー、壇山などを巡るコースも作りたい。
- ・ 芸術祭への理解は深まってきたと思うが、関与していない人にとっては、まだまだ迷惑な存在と思っている人もいようだ。
- ・ インフォメーションの対応が良くなかった。スタッフの教育がもっと必要である。
- ・ 観光協会で、パスポートの販売委託を受けたが、シーズンごとのパスポートは、複雑で販売しづらい面があった。
- ・ 自転車の台数がかなり増えたので、作品設置箇所には駐輪場対策が必要である。

女木島

- ・ 3会期に分けたことで、来場者を分散できたことは良かったと思う。
- ・ 以前に比べるとごみのポイ捨ては減った。
- ・ 来場者が道いっぱいになって歩くなど、通行マナーはあまり良くなかった。
- ・ 自転車のマナーも良くなかった。すごいスピードで坂を降りてきたり、作品展示場所近くの道に自転車を置いたり、通行の邪魔になった。
- ・ 夏会期のイベントにお手伝いとして関わったが、良い思い出になった。
- ・ 一般の島民にもメリットがでるような仕組みを考えなければいけない。
- ・ 女木島は自然をテーマの作品展開ということだったと思うので、島の景色とマッチした作品を展示してほしい。

男木島

- ・ 3会期に分けたことは、島民にとっても中休みができて良かった。
- ・ 来場者のマナーは一部を除き、前回より良くなったと思う。
- ・ 次回は核となるアート作品を期待する。また、ワークショップを通じた共同制作や作家との交流の機会が欲しかった。
- ・ 地域振興としての面も大切だが、若手作家の育成の場としても非常に重要である。
- ・ 次回は、豊島や直島を結ぶ航路の拡充を期待する。
- ・ 男木島に関しては今回の来場者ぐらいが、来場する人の質の面でも、島民の生活に不便が出ないという面でも、妥当と考える。
- ・ 案内所は非常に良かった。特に外国の来場者に対しては非常に助かった。
- ・ 芸術祭があるとイキイキする場面が多くある。次回も是非やってもらいたい

し、あるものとして考えている。

小豆島（土庄町）

- ・ 作品については、ボランティアガイド協会としてはガイドする対象ができてありがたいと思っている。来場者と住民のふれあう場として残して欲しい。
- ・ 気になる点としては、会期中でも各会場の状況を把握して地域住民の声を聞きながら日々の改善をしてほしかった。2016の芸術祭も行政と協力しながらやっていきたい。
- ・ 来場者との交流の中で、こちらが元気をもらうことができた。
- ・ 作品のお披露目として、自治会の企画で餅投げをした。餅つきや豚汁の接待もした。地元としては盛り上げに協力できて満足している。
- ・ 今回、地域で何かを残してほしいと要望していたところ、恒久作品として猪鹿垣を残してくれた。今後、管理が必要になるが、地元も協力するので何か残るものを作ってほしい。
- ・ 宿泊は夏会期などはもともと一杯で、泊まれなかった人もいるのではないか。豊島では民泊が数軒あるが、小豆島でも民泊を考えたら良いと思う。

大島

- ・ 大島が来やすいところになればと思う。
- ・ 東京など遠方から来る人が多く、驚いた。
- ・ 大島に来るには、やはり船に制限があることが課題である。
- ・ こえび隊は1日3回もガイドをしていて体力的にも辛かったと思うが、頑張ってくれた。
- ・ カフェを楽しみに来る人も多く、島民と来島者が話せる場としての役割も果たした。
- ・ こえび隊がガイドツアーのときにカフェ・シヨルの説明をしていていたためか、「大島を味わう」というコンセプトを理解して訪れる方が多かったのが嬉しかった。

犬島

- ・ 会期を3つに分けたことで来場者が平準化され、良かった。
- ・ 春は通常人が来ない時期に人が来た。やったかいがあったと思う。
- ・ 運営については特に問題はなかった。案内所の統制は取れていた。
- ・ 道いっぱい広がって歩く人がいて、通行の妨げになったが、ごみの問題はなかった。
- ・ 芸術祭は次回も開催した方が良い。
- ・ 芸術祭を契機に犬島を知ってもらいたい。
- ・ 作品については、わからなくてもきれいな作品なので満足し、良かったとい

う人も多い。

沙弥島

- ・ 春会期で多くのお客様が来られたが、島民から特に苦情は上がらず、あっという間に会期が終了したという感じであった。
- ・ お客さんのマナーも非常に良かった。
- ・ ガードマンが島内に車を入れさせなかったのが非常に良かった。多くのお客さんが来たにもかかわらず、平穏な日々を過ごすことができた。
- ・ 作家については良い人が来てくれたと思っている。
- ・ 作品の制作を通じて与島地区（沙弥島・瀬居島・与島・櫃石島・岩黒島）が一つになれた。
- ・ 来場者の動線が集落の中に入っていなかったのが良かった。家を見られると苦情が出ていたかもしれない。
- ・ 次回開催地についてはもう一度沙弥島ということではなく、与島地区全体の活性化を踏まえて開催場所を決めなければならないと思っている。

本島

- ・ 会期については、秋会期で良かった。期間はもう少し（7～10日間）長くても良い。
- ・ 夏は、漁や海水浴で忙しいので無理だが、春と秋であれば実施は可能。
- ・ 来場者のマナーは良かった。ごみも少なかった。
- ・ 単発のイベントの経験はあったが、長期のイベントは初めてで最初はとまどったが、徐々に良くなっていった。
- ・ 県・市職員・緊急雇用・ボランティアともよくやってくれたと思う。
- ・ 作家同士が仲良くなり、作品制作をお互いに手伝うなど、良い雰囲気になったと思う。
- ・ 今回はなかったが、島の西側のエリアにも作品展開をして欲しい。
- ・ 島内ガイドが必要であった。島についての説明を求める来島者が多かった。
- ・ 瀬戸芸を通じて、地域が一丸になることができ、島民同士の結束ができた。
- ・ 次回開催については、本島実行委員会の総会で議決したとおり、芸術祭 2016 に参加したい。

高見島

- ・ 開催時期としては、夏の暑さを考えると秋開催で良かったと思うが、期間 31 日間は短かったような気がする。
- ・ 来場者のマナーは良かった。
- ・ 多くの人に来てもらい、いろんな人と話をすることができた。芸術祭に島として参加して本当に良かったと思う。
- ・ 芸術祭の開催によって島民の意識が変わったように思える。

- ・ 西の三島（本島・高見島・粟島）を横の航路で結んで開催したことが良かった。お客さんも横の航路を使って各島を巡ることができて喜んでいただと思う。
- ・ 今回の開催決定時にも話をしたが、高齢化が進んでおり島民が作品制作等に協力できないこともある。次回開催時も島民に負担をかけない形で開催してもらいたい。

粟島

- ・ 秋会期の開催で良かった。期間もちょうど良かった。
- ・ 夏には海水浴客が多いので、粟島は秋にしかできない。
- ・ 多くの来島者があり驚いたが、マナーは良かったと思う。
- ・ 島ごとのパスポートがあれば利用しやすい(全体のパスポートは無駄が多い)。
- ・ 芸術家村事業の作家は、島の人といっしょに作ったという思いがあり、ボランティアに協力してくれる島民が多かった。芸術家村事業が無ければ、これほどのボランティアはできなかった。
- ・ 作品の説明があった方がよい。
- ・ 芸術祭の目的は島の活性化と言っているが、作品鑑賞のみで帰る人が多い。島の中をもっと見て欲しかった。
- ・ 3島航路ができたので、船の時間を気にして駆け足で作品巡りする人が多かった。
- ・ 上新田のグイグイガーデン等への送迎用の車があれば、ボランティアで案内ができた。
- ・ 3島航路ができたので、島民が今まで行ったことがなかった高見島や本島に粟島から行けたのが良かった。
- ・ 手作り感のある人間同士のコミュニティを作る機会としたい。来島者は素朴感を求めているように思った。
- ・ 高見島の茶粥のお接待を受けて、麦茶のお接待ぐらいであれば自宅前でやれば良かったと思う。

伊吹島

- ・ 会期については、夏開催でなければ、伊吹らしさや活気のあるところが見せられない。
- ・ 夏はイリコで忙しいため、ボランティアに参加できる島民が高齢者に集中した。若い世代からも、「夏でなければ手伝いたかった」等の声があった。
- ・ 秋開催の方が、島民ボランティアが参加しやすく、来場者にとっても体力的負担が少ないのではないかと。
- ・ 来場者のマナーは全体的に良かった。
- ・ 作家については、最初はとっつきにくい印象であったが、作業等を手伝ううちに打ち解けた。
- ・ 小中学校でワークショップ等を開催してもらえ、生徒たちに貴重な体験をさ

せることができた。

- ・ 次回開催は、継続した方が良い。
- ・ 今回の「トイレの家」のように、回を重ねるごとに残る作品があれば観光資源になり島の活性化に繋がる。

宇野港（玉野市）

- ・ 作品展示場を提供する側からすれば、市役所の人やこえび隊には良くしてもらった。
- ・ 来場者は若者が中心で、コミュニケーションが多かった。街中の喫茶店にも来場者が寄ってくれた。
- ・ 来場者はマナーが良く、上品なお客さんが多かった。来場者から町の良さを逆に教えられた。
- ・ 会期を分けたことはインパクトがあって良かった。会期ごとに異なる属性の人たちが来てくれた。
- ・ パスポート販売の点からは、通期の方が良いと思う。パスポートはいつでも使えるようにすれば、多くの人に来られる。
- ・ 会期は、前回の方が良かった。3月は人が多かったが、4月に入り（学校や会社が始まって）、来場者は急に減った。逆に、9月は会期外でも多かった。
- ・ 運営側の観点からは、会期内外問わず、同じスタッフで対応せざるを得なかったため、人の確保と在庫の管理の観点からロスが多かった。
- ・ 春、夏、秋会期とリピートする人も見られて良かった。
- ・ 次回も是非やってもらいたいし、あるものとして考えている。
- ・ インフォメーションセンターの場所は、人通りにも面しており良かった。
- ・ 街中回遊向上の仕掛けを、今回を踏まえて検討していきたい。
- ・ 食の部分に期待するところも大きいので、受け入れ態勢を整えることが大事。

(2) 島民の評価（島民アンケートから）

- 芸術祭終了後、会場となった島の島民（自治会単位）を対象にアンケートを実施し、2,384名から回答があった。
- 芸術祭の地域活性化への期待度は、開催前が75.0%、開催後が76.4%となっている。また、78.4%の人が住んでいる地域に作品が設置されて良かったと答えている。

Q. 芸術祭2013の開催前、芸術祭が地域活性化に役立つと期待されていましたか。

1 大いに期待していた	30.0%
2 少しは期待していた	45.0%
3 あまり期待していなかった	13.9%
4 全く期待していなかった	4.8%
5 どちらともいえない	6.3%
回答数	2,311人



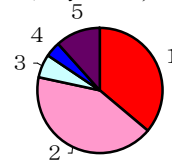
Q. 芸術祭2013が終わった現在、芸術祭は地域活性化に役立ったとお考えですか。

1 大いに役立った	33.9%
2 少しは役立った	42.5%
3 あまり役立たなかった	9.1%
4 全く役立たなかった	5.9%
5 どちらともいえない	8.6%
回答数	2,312人



Q. あなたのお住まいの地区に、作品が設置されたことは良かったとお考えですか。

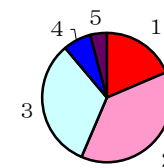
1 たいへん良かった	36.2%
2 まあまあ良かった	42.2%
3 あまり良くなかった	6.0%
4 悪かった	4.0%
5 どちらともいえない	11.6%
回答数	2,227人



- 来場者のマナーについては、56.3%が良かったと答えており、良くなかったとの回答は11.1%にとどまった。

Q. 来場者のマナーはいかがでしたか。

1 たいへん良かった	18.7%
2 まあまあ良かった	37.6%
3 普通だった	32.6%
4 あまり良くなかった	6.9%
5 悪かった	4.2%
回答数	2,199人



Q. 芸術祭2013の開催により、日常生活にご迷惑、ご負担をおかけしましたか。

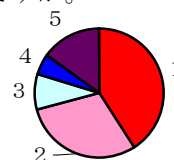
1 迷惑や負担はほとんどなかった	38.8%
2 あまり感じなかった	34.5%
3 やや迷惑に感じた	15.4%
4 非常に迷惑だった	7.1%
5 どちらともいえない	4.2%
回答数	2,251人



- 3シーズンでの開催については、70.9%が適当であったと回答しており、「来場者が分散された」「四季が感じられたのではないか」との意見があった。
- 一方で、「春会期、秋会期が短すぎた」や、「続けて開催する方が熱が冷めなくて良いのではないか」との意見も見られた。

Q. シーズンごと（春・夏・秋）での開催は適当であったとお考えですか。

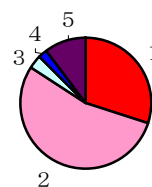
1 適当であった	40.7%
2 まあまあ適当であった	30.2%
3 あまり適当でなかった	8.8%
4 全く適当でなかった	5.2%
5 どちらともいえない	15.1%
回答数	2,053人



- 全体として、84.3%が成功だったと回答し、次回開催についても83.3%が開催してほしいと回答している。

Q. 全体として、芸術祭2013は成功だったとお考えですか。

1 大成功だった	29.9%
2 まあまあ成功だった	54.4%
3 あまり成功ではなかった	3.1%
4 失敗だった	2.2%
5 どちらともいえない	10.4%
回答数	2,199人



Q. 次回（3年後）の開催について、どのようにお考えですか。

1 ぜひ開催してほしい	49.4%
2 どちらかといえば開催してほしい	33.9%
3 どちらかといえば開催しないでほしい	7.4%
4 開催に反対	6.1%
5 わからない	3.2%
回答数	1,960人

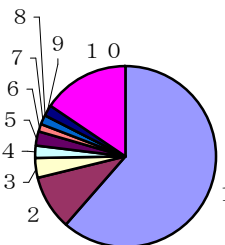


(3) 香川県文化関係者の評価（文化関係者アンケートから）

- 芸術祭終了後、県内文化関係者を対象にアンケート調査を実施し、374名から回答があった。

Q. あなたの活動する地域はどちらですか。

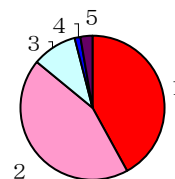
1 高松市内	61.3%
2 丸亀市内	9.7%
3 坂出市内	3.8%
4 観音寺市内	2.1%
5 三豊市内	2.7%
6 土庄町内	1.3%
7 小豆島町内	1.6%
8 直島町内	0.0%
9 多度津町内	1.9%
10 その他の地域	15.6%
回答数	372人



- 芸術祭開催前の期待度は85.9%で、開催後も86.1%が文化振興・地域活性化に役立ったと回答している。

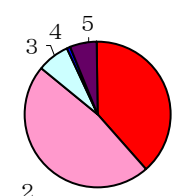
Q. 開催前、芸術祭が香川県の文化振興・地域活性化に役立つと期待されていましたか。

1	大いに期待していた	42.0%
2	少しは期待していた	43.9%
3	あまり期待していなかった	10.1%
4	全く期待していなかった	1.3%
5	わからない	2.7%
	回答数	367人



Q. 開催後、芸術祭は香川県の文化振興・地域活性化に役立ったとお考えですか。

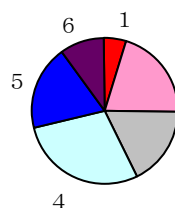
1	大いに役立った	38.4%
2	少しは役立った	47.7%
3	あまり役立たなかった	7.4%
4	全く役立たなかった	0.5%
5	わからない	6.0%
	回答数	365人



- 一方、芸術祭の開催による活動への影響については、約半数が影響がなかったと回答しており、直接的な関わりは少なかったことがわかる。

Q. 芸術祭2013の開催は、あなたの活動又は施設等の運営に影響がありましたか。

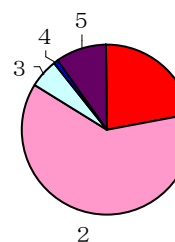
1	大きく影響があった	5.0%
2	ある程度影響があった	20.4%
3	どちらでもない	17.1%
4	あまり影響がなかった	28.2%
5	全く影響がなかった	19.6%
6	わからない	9.7%
	回答数	362人



- 全体として、83.6%が芸術祭の開催は成功だったと回答しており、次回開催についても78.6%が開催してほしいと回答している。

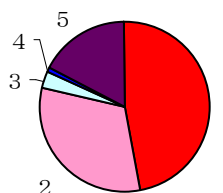
Q. 全体として、芸術祭2013は、成功だったとお考えですか。

1	大成功だった	22.6%
2	まあまあ成功だった	61.0%
3	あまり成功ではなかった	5.6%
4	失敗だった	1.1%
5	どちらともいえない	9.7%
	回答数	359人



Q. 次回(3年後)の開催について、どのようにお考えですか。

1	ぜひ開催してほしい	46.9%
2	どちらかといえば開催してほしい	31.7%
3	どちらかといえば開催しないほしい	3.1%
4	開催に反対	0.8%
5	どちらともいえない	17.5%
	回答数	360人



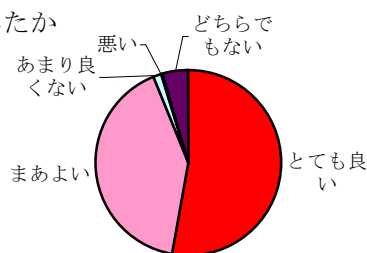
- また、自由記載意見として、「もっと県内の芸術家、建築家等を活用してほしい」や「香川県のほかの伝統芸術の発展にも繋げてほしい」などの意見がそれぞれ 2割程度見られた。

(4) 来場者の評価（来場者アンケートから）

- 芸術祭会期中、来場者を対象にアンケートを実施し、17,297 名からの回答があった。
- 総合的に、94.0%が「とても良い」「まあよい」と評価している。

Q. 芸術祭に来場されて、総合的にはいかがでしたか

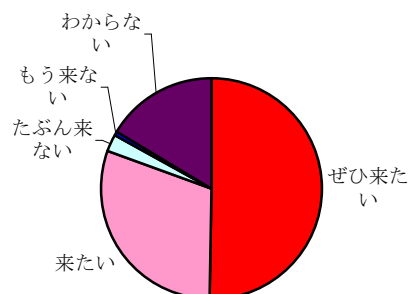
総合評価	割合
とても良い	52.8%
まあよい	41.2%
あまり良くない	1.2%
悪い	0.2%
どちらでもない	4.6%
回答数	16,808人



- 次回芸術祭については、開催されるなら 80.4%が「来たい」と回答している。

Q. 次回開催があれば来たいですか

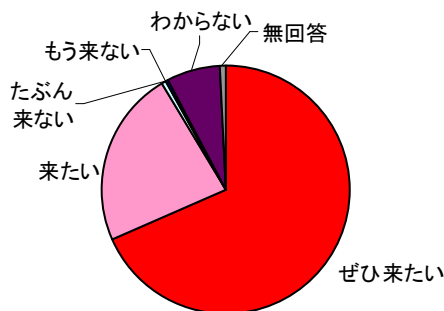
回答	割合
ぜひ来たい	50.4%
来たい	30.0%
たぶん来ない	2.5%
もう来ない	0.8%
わからない	16.3%
回答数	16,257人



- リピーター来場者の 91.5%が次回も「ぜひ来たい」「来たい」と回答している。

Q. (前回来られた方で) 次回開催があれば来たいですか

回答	割合
ぜひ来たい	68.3%
来たい	23.2%
たぶん来ない	0.5%
もう来ない	0.1%
わからない	7.2%
無回答	0.7%
回答数	5,224人



21 芸術祭 2010 と 2013 の対比

区 分	芸術祭 2010	芸術祭 2013
テーマ	海の復権	海の復権
名称	瀬戸内国際芸術祭 2010 「アートと海を巡る百日間の冒険」	瀬戸内国際芸術祭 2013 「アートと島を巡る瀬戸内海の四季」
会期 (開場日数)	7. 19－10. 31 (105 日間)	春：3. 20－4. 21 (33 日間) 夏：7. 20－9. 1 (44 日間) 秋：10. 5－11. 4 (31 日間) (計 108 日間)
会場	直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、高松港周辺、宇野港周辺の 9 会場	直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島、本島、高見島、粟島、伊吹島、高松港周辺、宇野港周辺の 14 会場
参加アーティスト・プロジェクト数	18 の国と地域、75 組	26 の国と地域、200 組
アート作品数	76 点	207 点
イベント	16 企画	40 企画
来場者数	約 93 万 8 千人	春：約 26 万 3 千人 夏：約 43 万 5 千人 秋：約 37 万 2 千人 計：約 107 万人
作品鑑賞 パスポート販売数	88,437 枚	92,475 枚
予算規模	727 百万円 (3 ヶ年)	1,015 百万円 (3 ヶ年:決算見込み)